

施策評価(一次評価)

補足資料

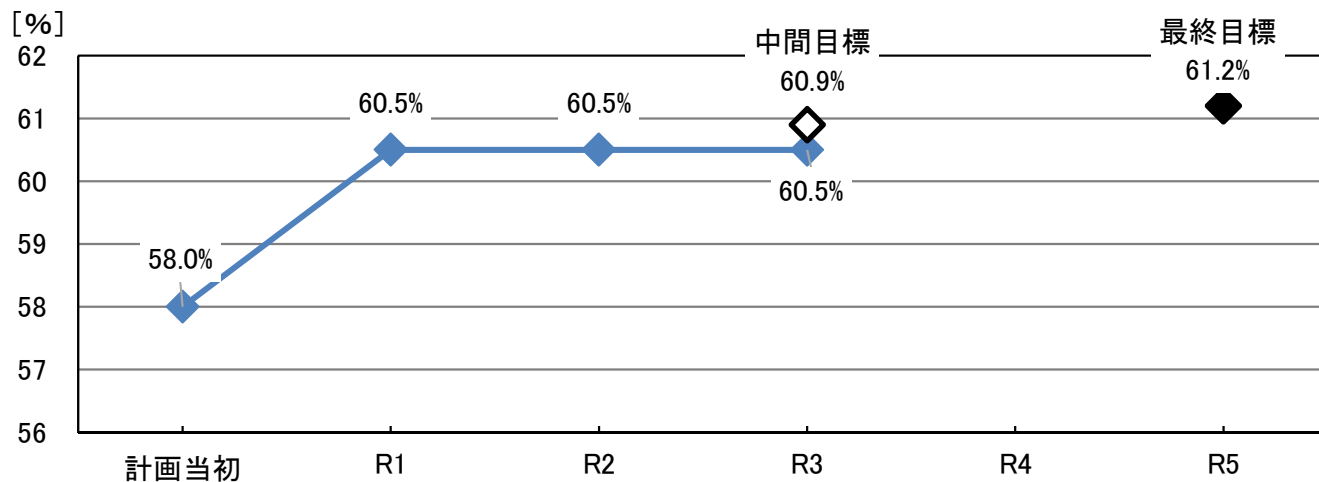
【目次】

めざす成果6-2-1	...	1
めざす成果6-2-2	...	4
めざす成果6-2-3	...	7
めざす成果6-3-1	...	11
めざす成果6-3-2	...	14
めざす成果5-2-1	...	19
めざす成果5-2-2	...	23
めざす成果5-2-3	...	26
めざす成果5-2-4	...	28
めざす成果5-3-1	...	33

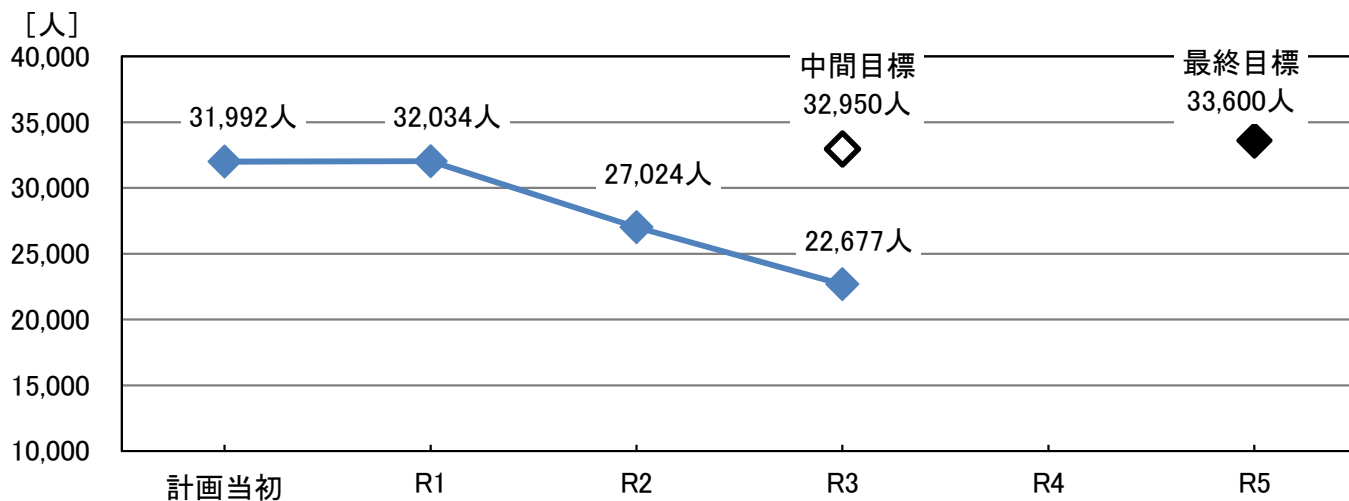
めざす成果6-2-1 市街地の整備が計画的に進んでいる

<成果を計る指標>

1. 指標① 土地区画整理事業などによる市街地整備の割合



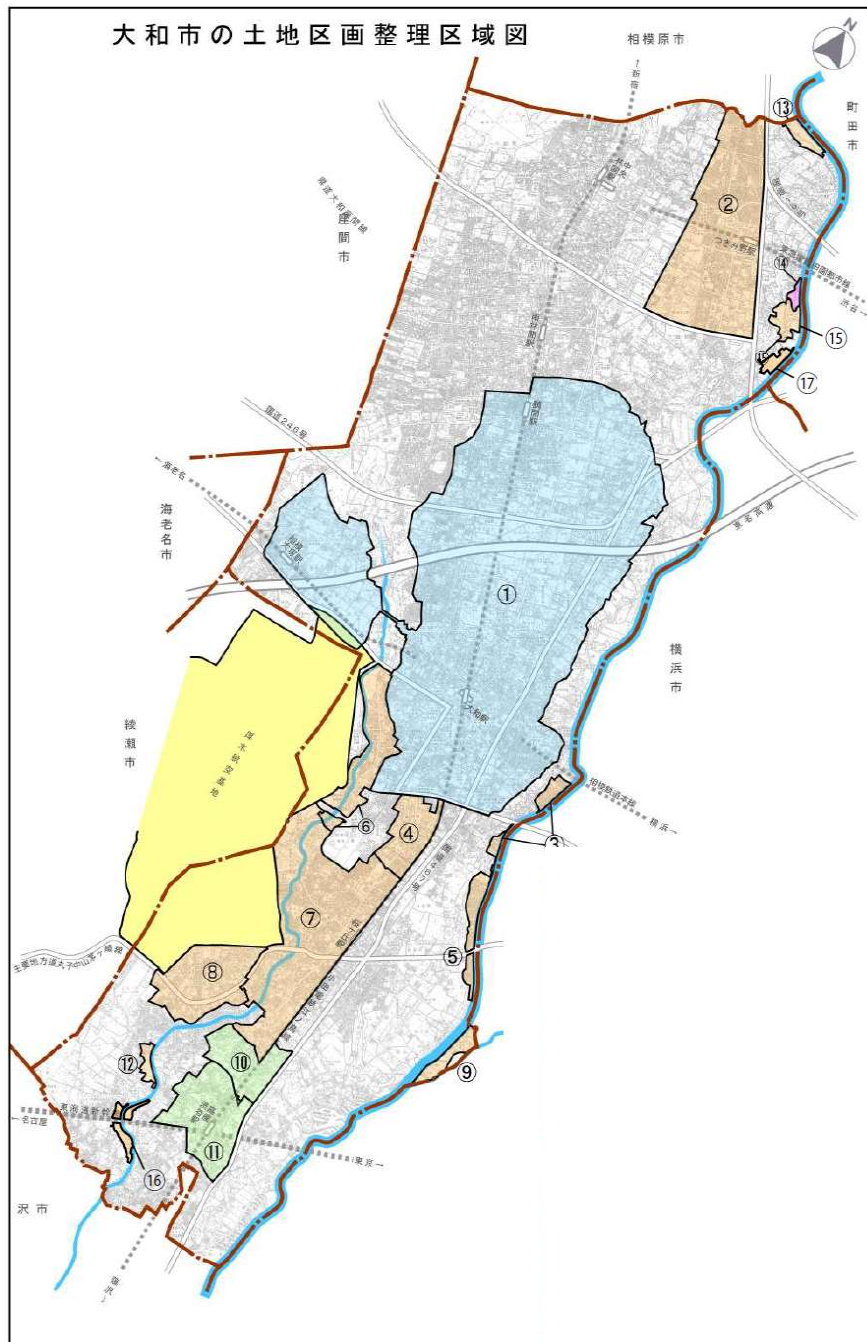
2. 指標② プロムナードにおける1日あたりの通行者数



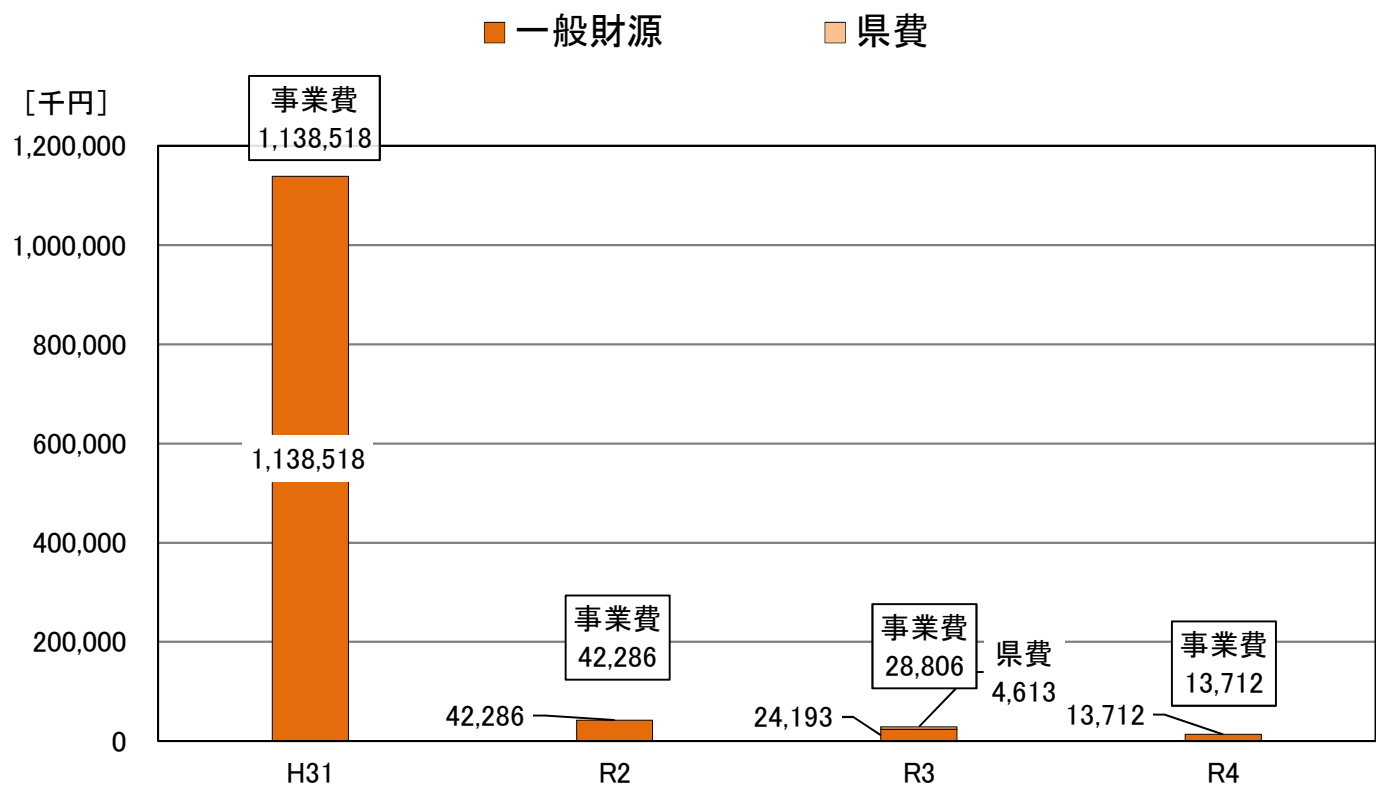
<参考データ>

3. 土地区画整理事業一覧

番号	地区名	公告年月日 (組合設立認可)	施行地区面積 (ヘクタール)	換地処分 公告年月日	施行者
1	大和都市計画事業(旧軍)	昭和23年12月23日	619.6	昭和35年3月25日	神奈川県
2	北部第一	昭和40年7月6日	112.5	昭和45年1月31日	組合
3	鹿島	昭和42年2月21日	7.2	昭和43年11月5日	組合
4	南部第一	昭和43年10月4日	20.7	昭和47年3月14日	組合
5	久田	昭和44年11月10日	15.5	昭和47年8月29日	組合
6	下草柳	昭和46年6月11日	33.1	昭和49年11月22日	組合
7	南部第二	昭和47年6月30日	116.1	昭和59年3月19日	組合
8	南部第三	昭和48年6月1日	41.3	昭和53年2月21日	組合
9	宮久保	昭和54年12月25日	7.2	昭和56年7月7日	組合
10	渋谷(北部地区)	昭和55年6月10日	23.4	平成6年9月30日	大和市
11	渋谷(南部地区)	平成5年12月1日	4.2	平成30年6月29日	大和市
12	神明若宮	平成6年10月14日	3.4	平成11年3月23日	組合
13	下鶴間高木	平成16年6月11日	4.9	平成20年8月26日	組合
14	下鶴間山谷北	平成19年3月29日	1.6	平成21年4月16日	個人
15	下鶴間松の久保	平成21年1月19日	4.9	平成23年7月29日	組合
16	下福田	平成28年5月23日	3.9	令和元年12月24日	組合
17	下鶴間山谷南	平成29年2月15日	3.9	令和元年10月25日	組合



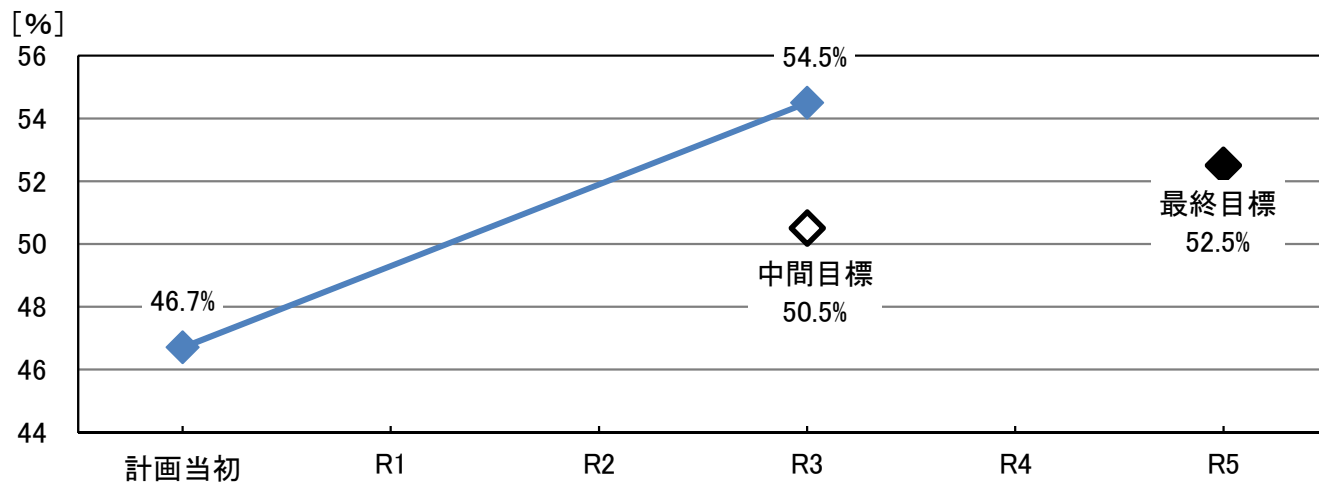
4. 予算額の推移(めざす成果6-2-1に位置づけている事業のみ)



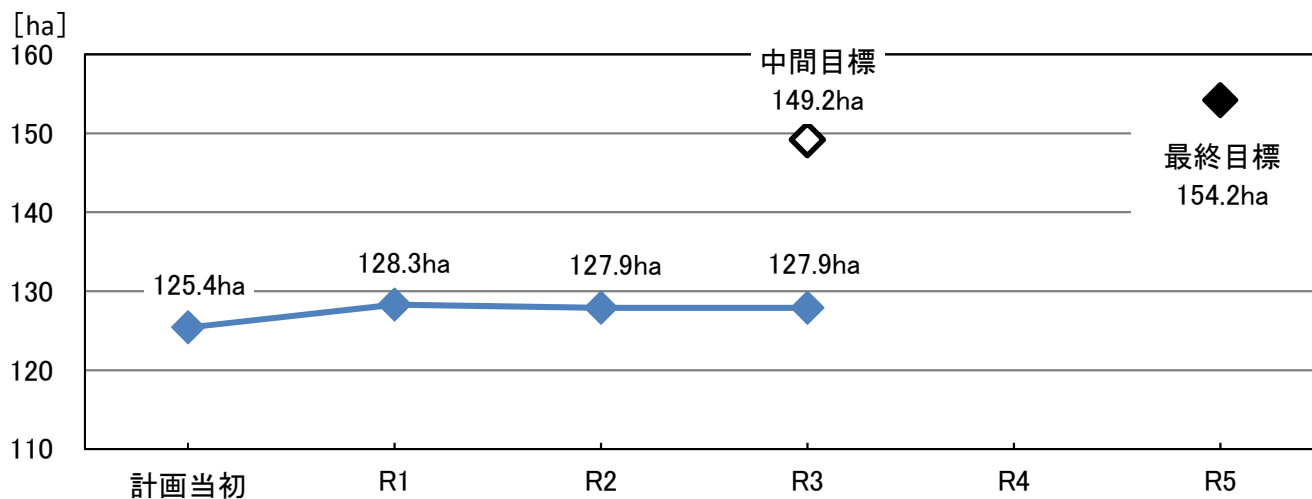
めざす成果6-2-2 良好なまち並みが形成されている

<成果を計る指標>

1. 指標① 大和市は、良好なまち並みが形成されていると思う市民の割合

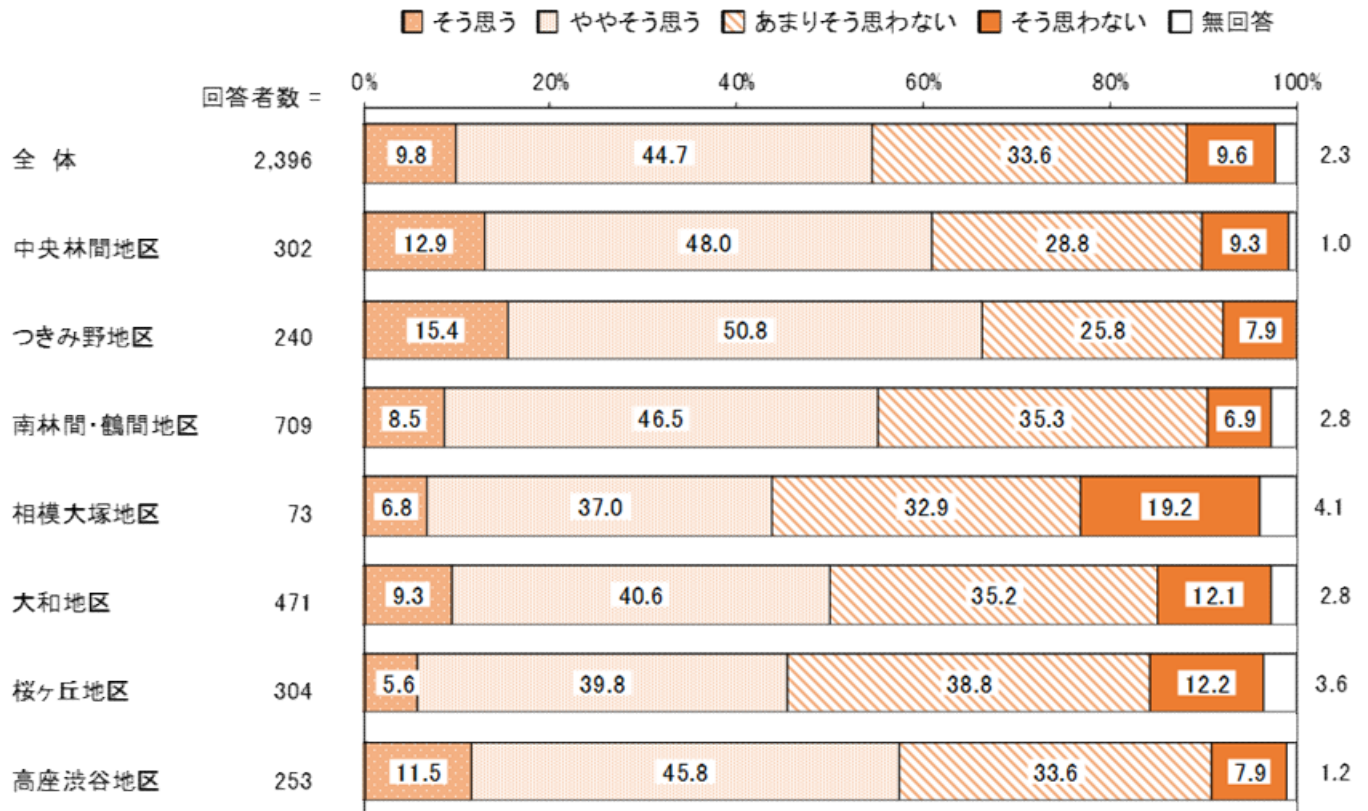


2. 指標② 地区計画、建築協定、地区街づくり協定などルール化された面積(累計)

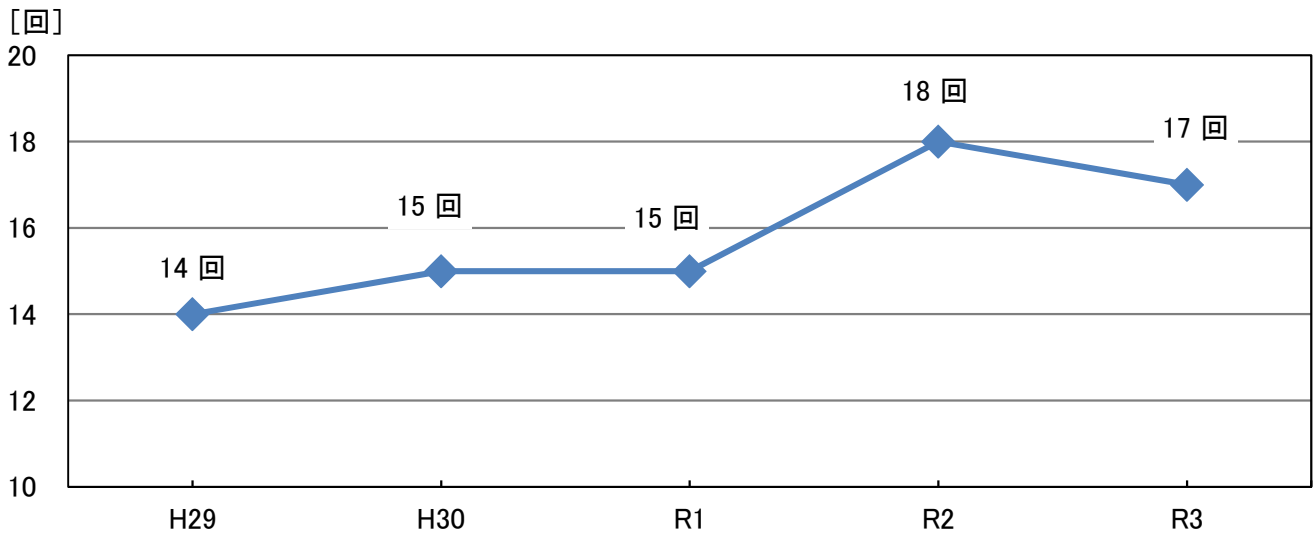


<参考データ>

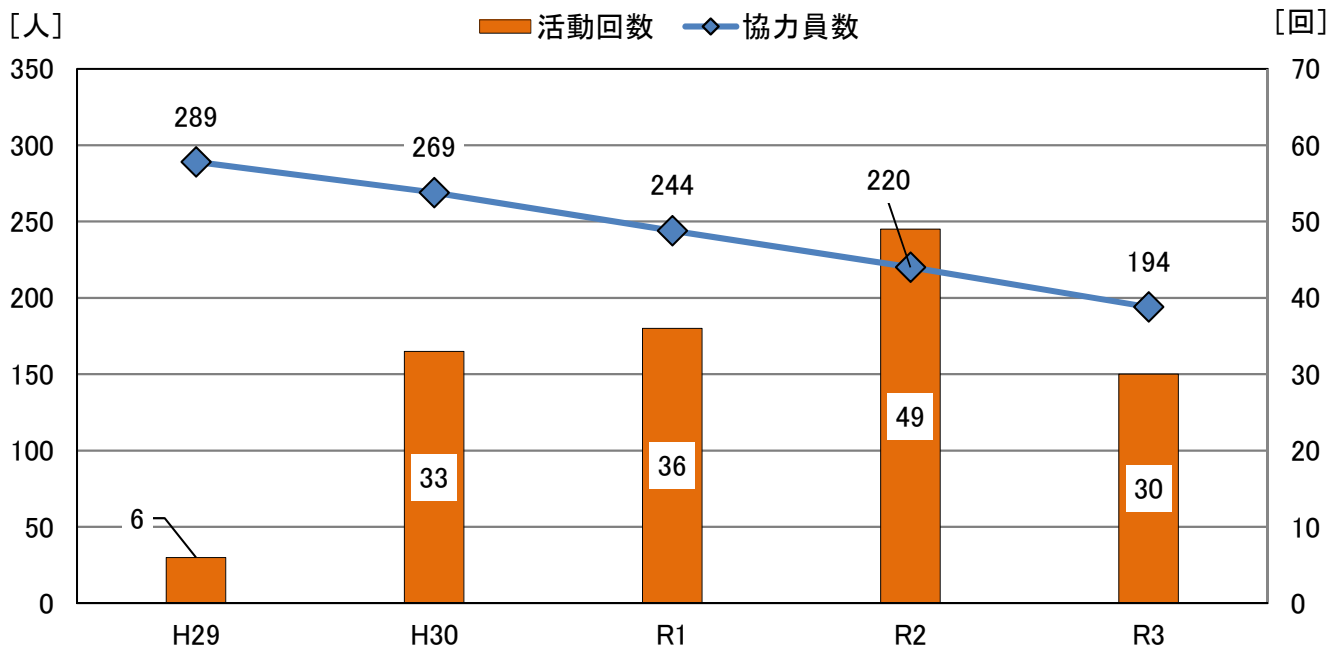
3. 大和市は、良好な街並みが形成されていると思う市民の割合（居住地域別） ※令和3年市民意識調査より



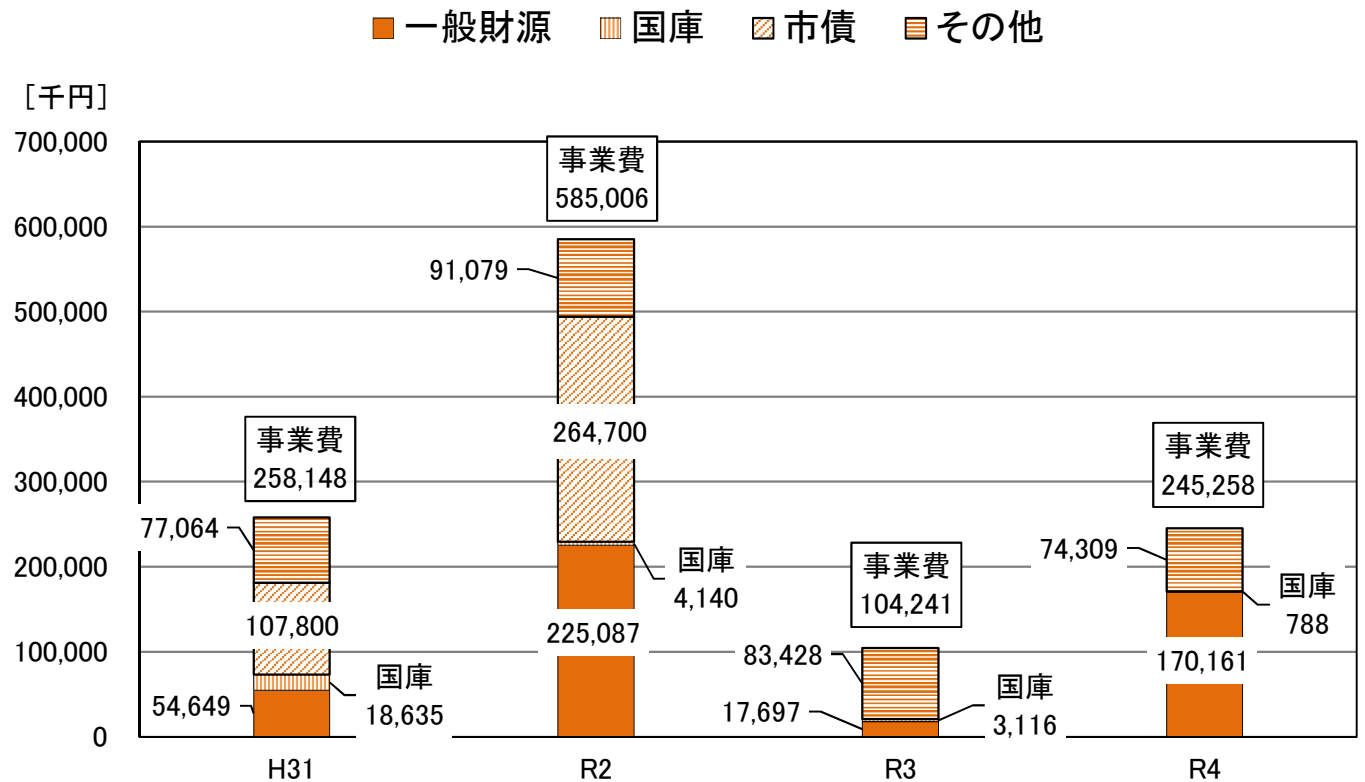
4. 中央林間駅周辺のまちづくりに係る鉄道事業者との協議・調整回数



5. 簡易除却活動の協力員数・活動回数

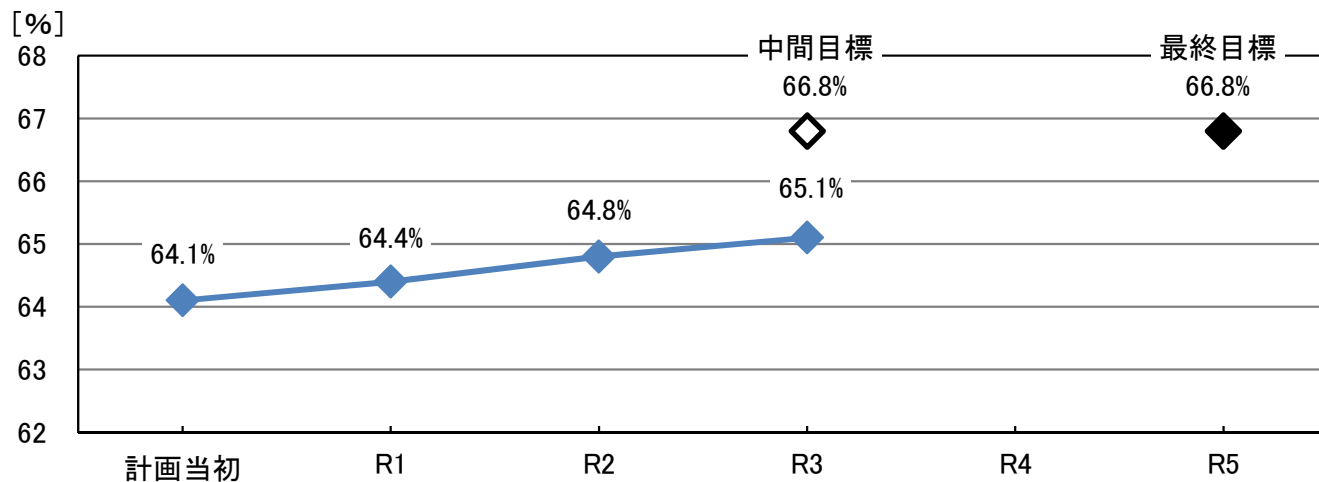


6. 予算額の推移(めざす成果6-2-2に位置づけている事業のみ)

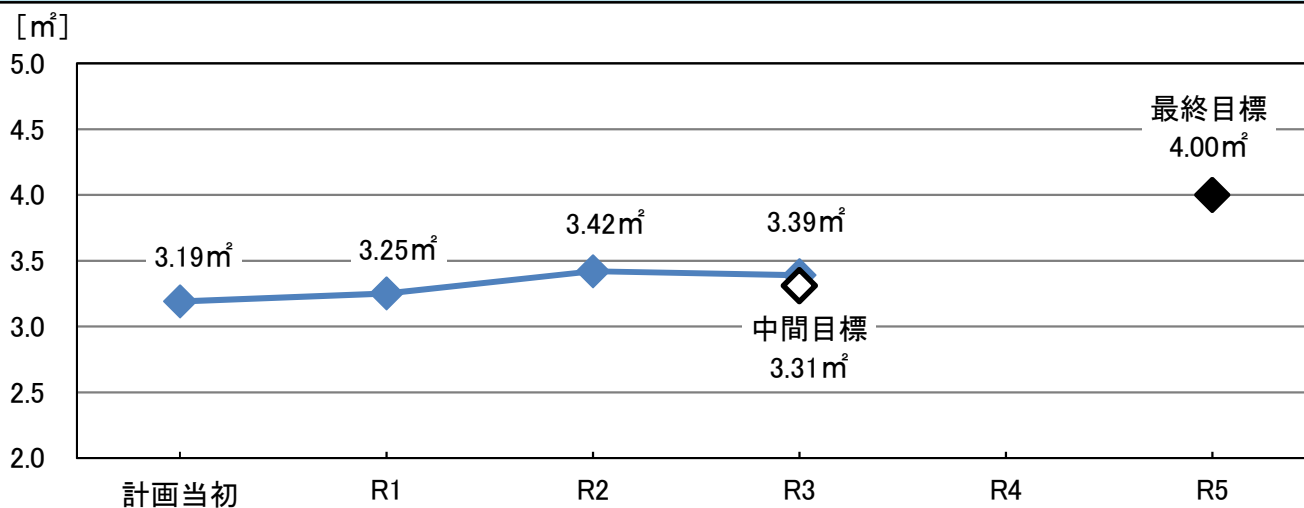


<成果を計る指標>

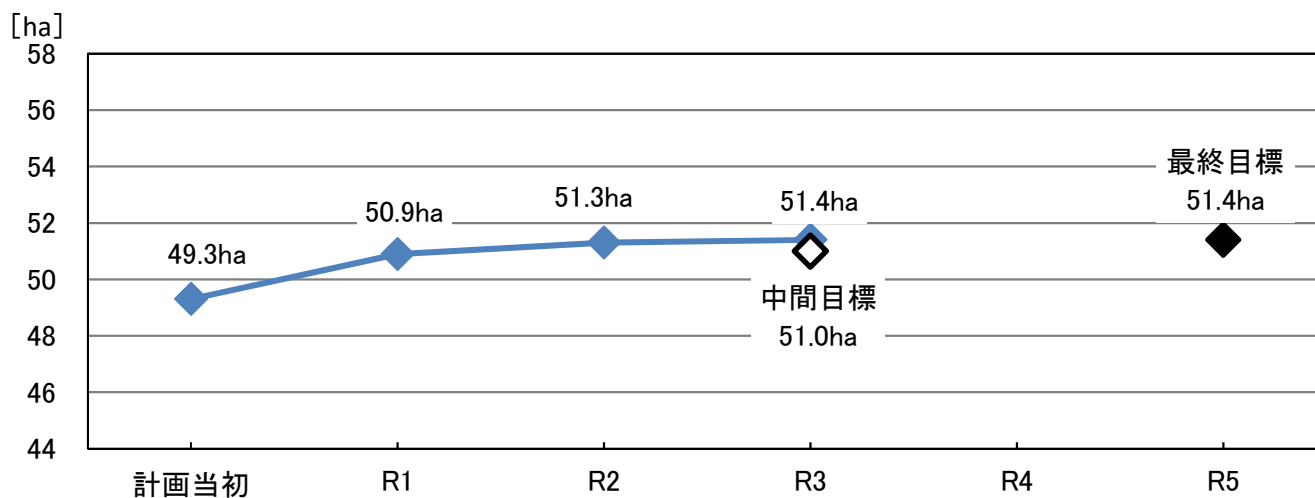
1. 指標① 都市計画道路の整備率



2. 指標② 市民1人あたりの都市公園面積

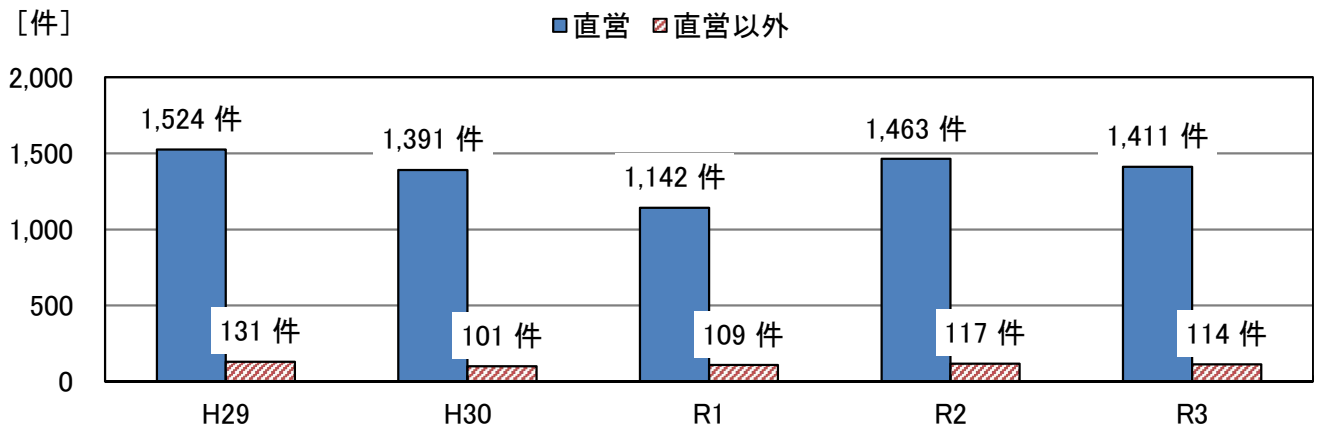


3. 指標③ 市街化区域内の都市公園面積



<参考データ>

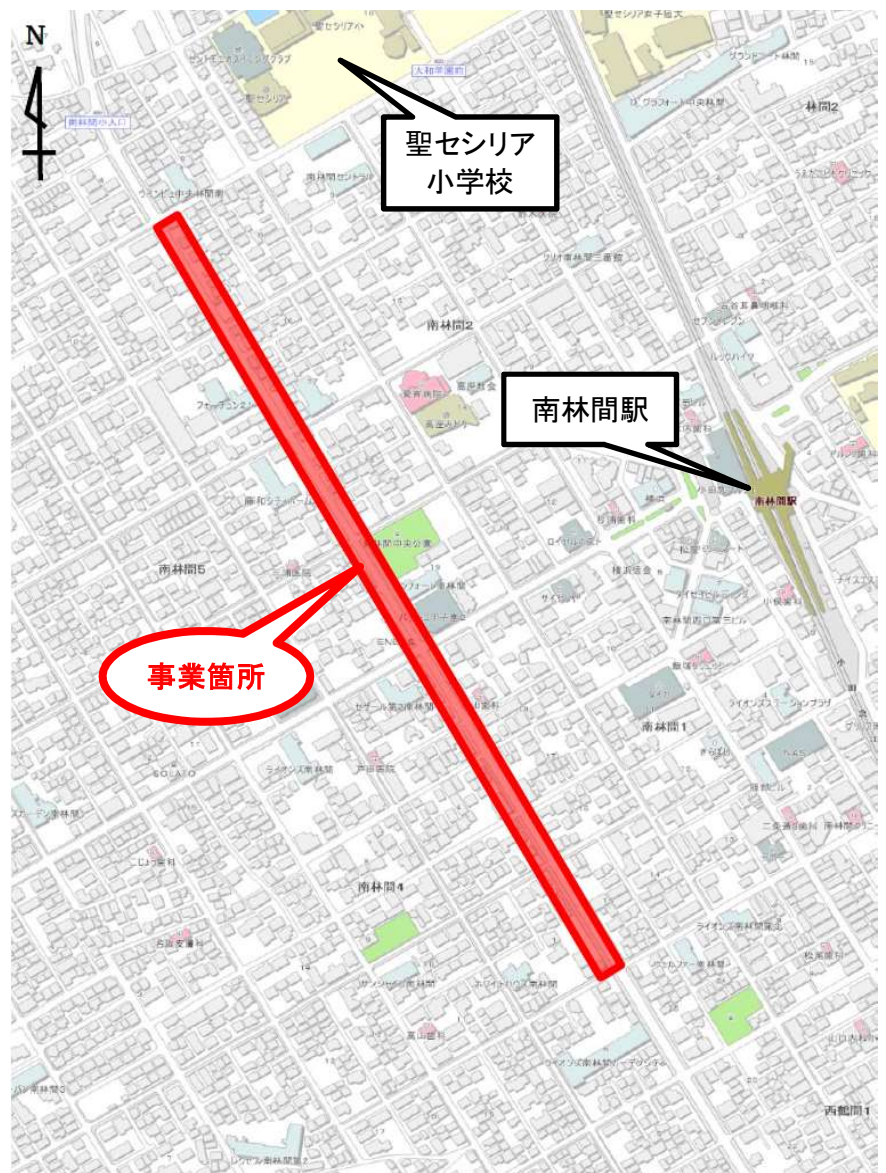
4. 道路施設補修件数



※軽微なものや応急対応は直営で実施し、直営で対応できないものは業者に発注します。

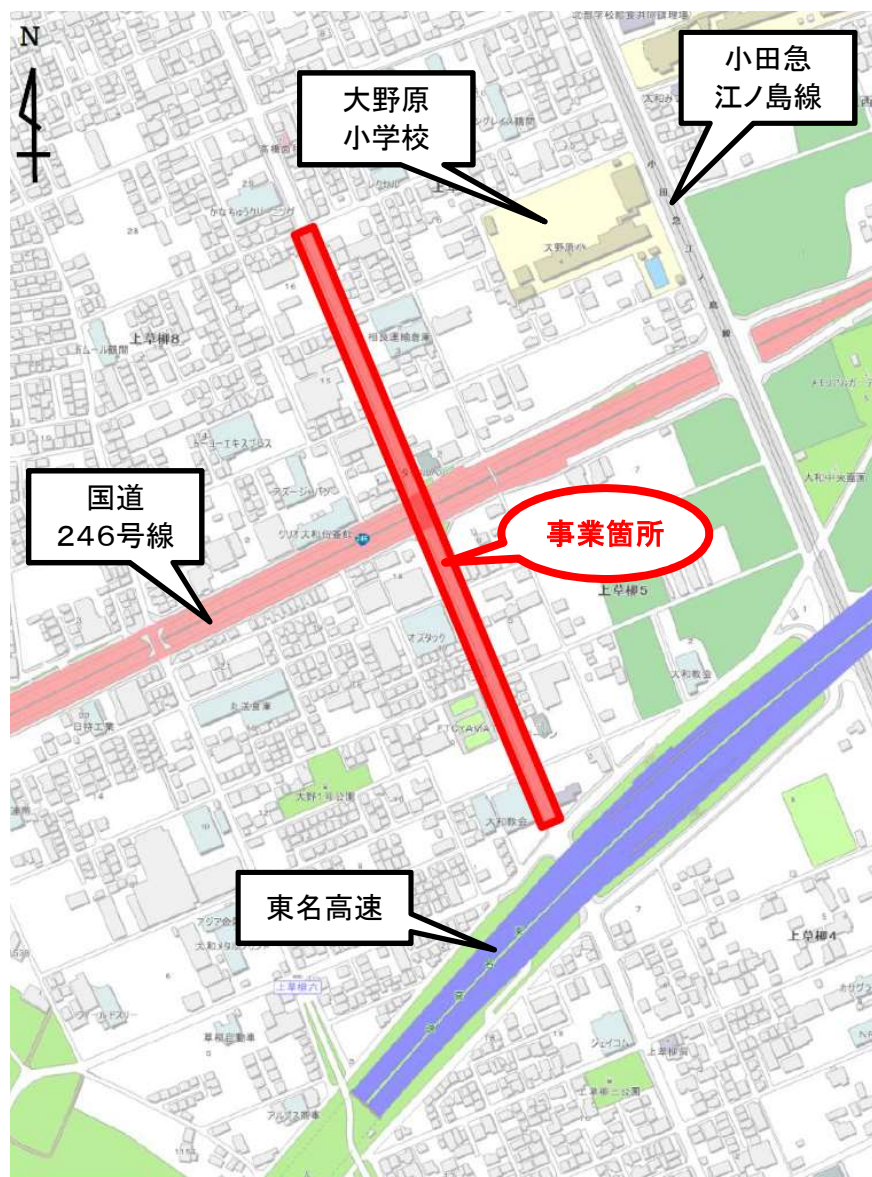
5. 都市計画道路の整備(福田相模原線(南林間地区)道路改良事業

項目	概要
整備目的	歩行者の安全確保、交通の円滑化、地域防災の向上
整備延長	約830メートル 現況幅員: 7.28メートル
事業箇所	南林間1丁目～5丁目及び8丁目
計画幅員	16.0メートル(車道9.0メートル、両側歩道3.5メートル)
事業期間	平成20年度～令和13年度(予定)

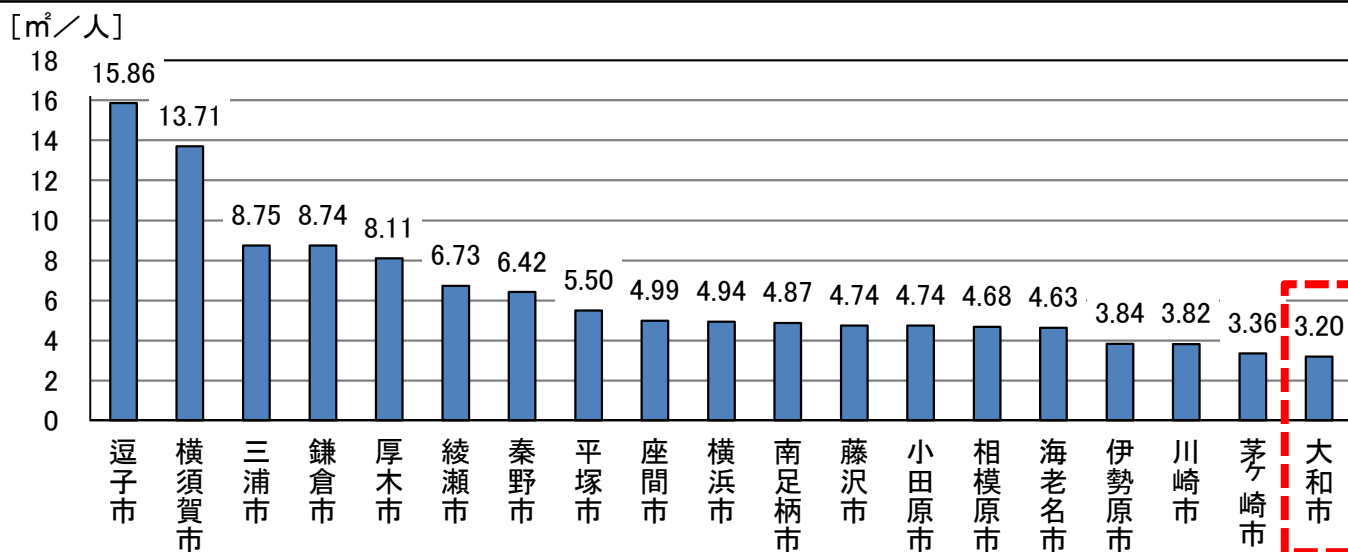


6. 都市計画道路の整備(福田相模原線(上草柳地区)歩道整備事業

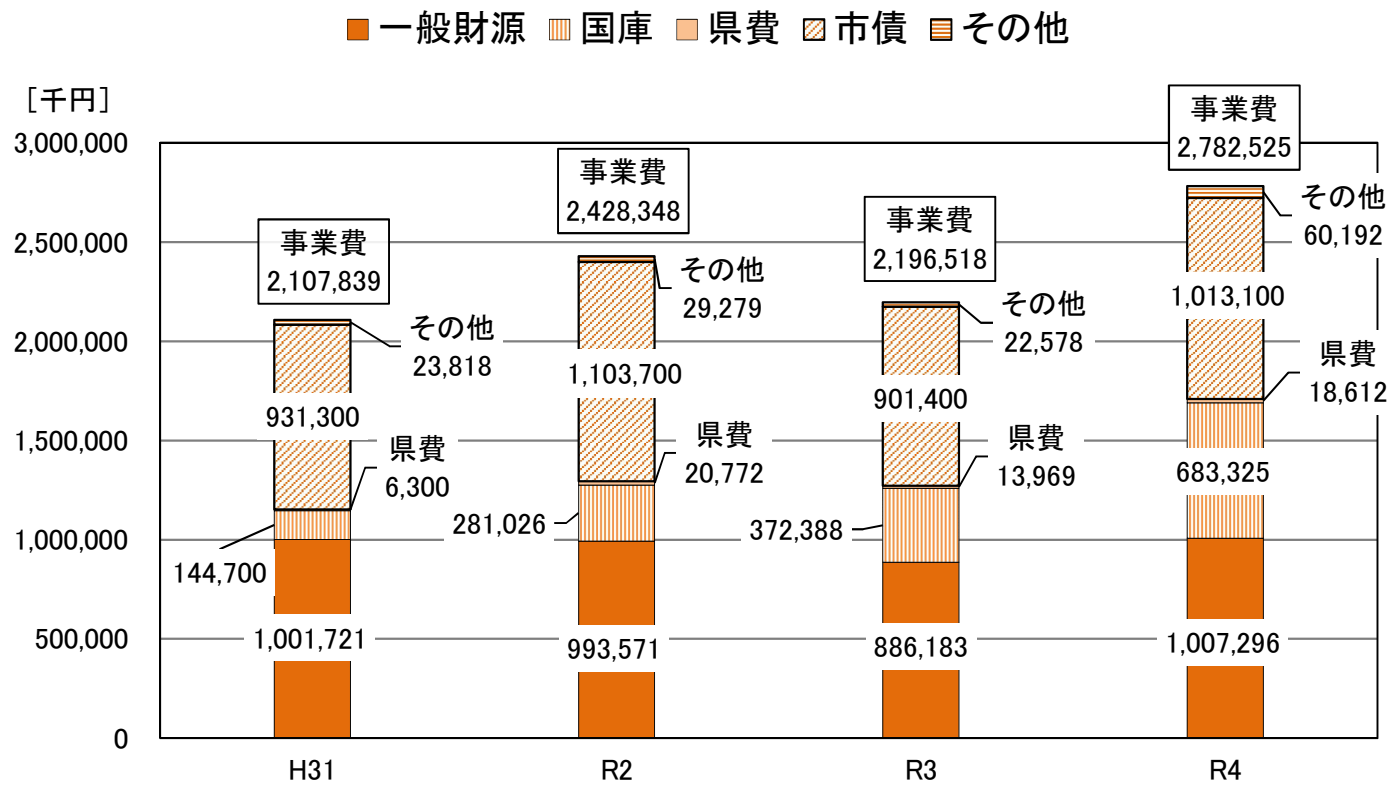
項目	概要
整備目的	歩行者の安全確保、交通の円滑化、地域防災の向上
整備延長	約490メートル 現況幅員:8.0メートル
事業箇所	上草柳5丁目～8丁目
計画幅員	16.0メートル(車道9.0メートル、両側歩道3.5メートル)
事業期間	平成26年度～ 令和7年度(予定)



7. 神奈川県内各市の市民一人あたりの都市公園面積(平成31年3月31日時点) ※神奈川県資料より作成



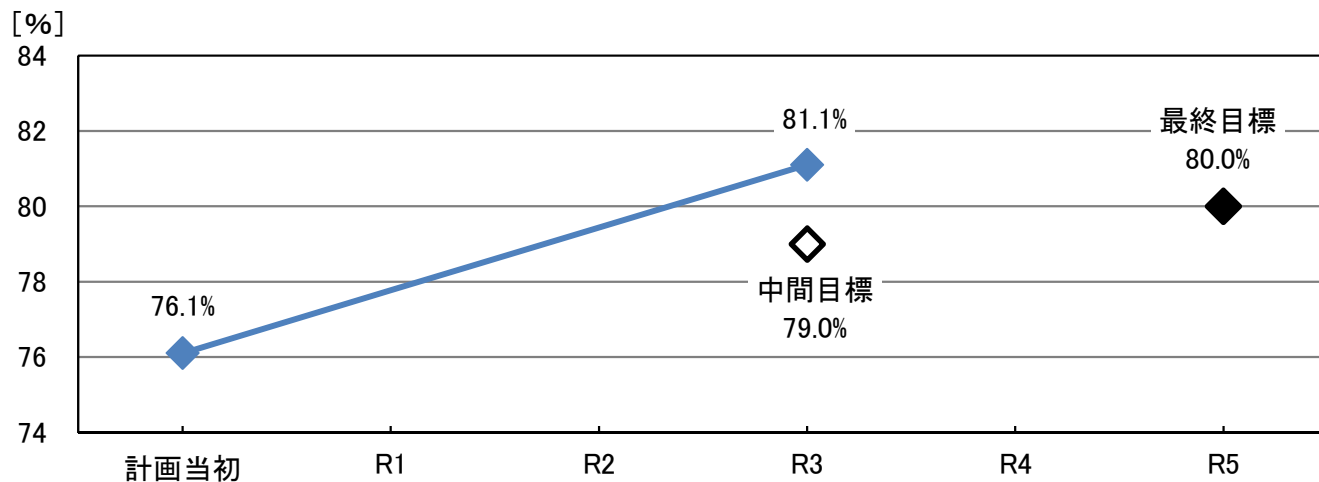
8. 予算額の推移(めざす成果6-2-3に位置づけている事業のみ)



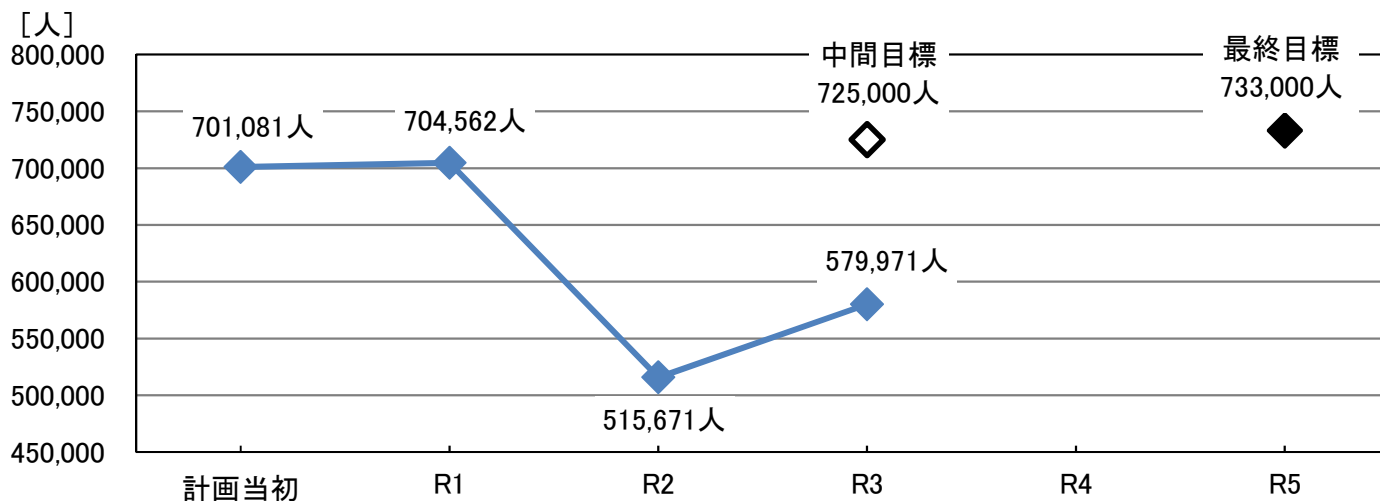
めざす成果6-3-1 地域交通の利便性が確保されている

<成果を計る指標>

1. 指標① 大和市は、公共交通機関を手軽に利用できると思う市民の割合

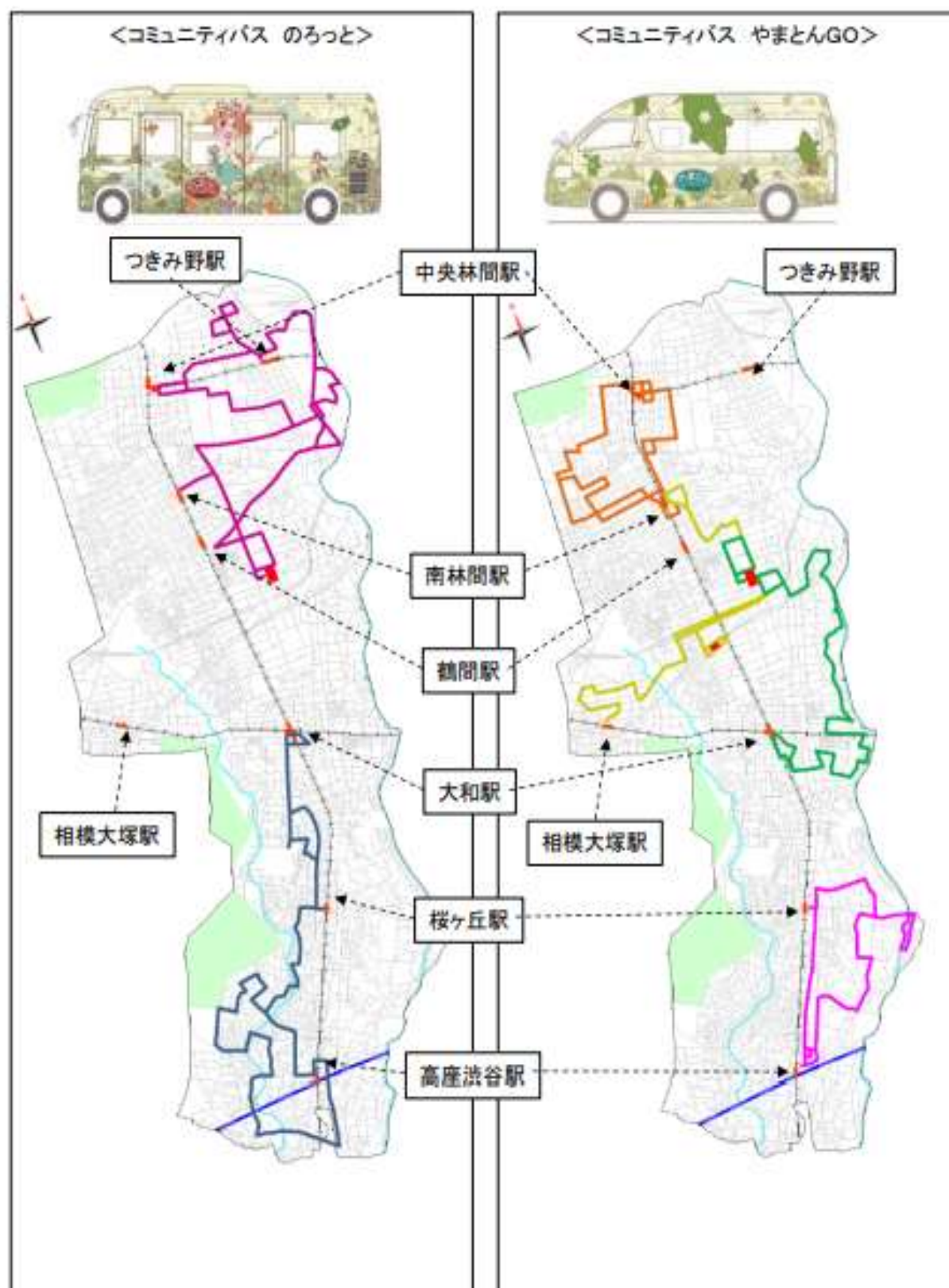


2. 指標② コミュニティバスの利用者数

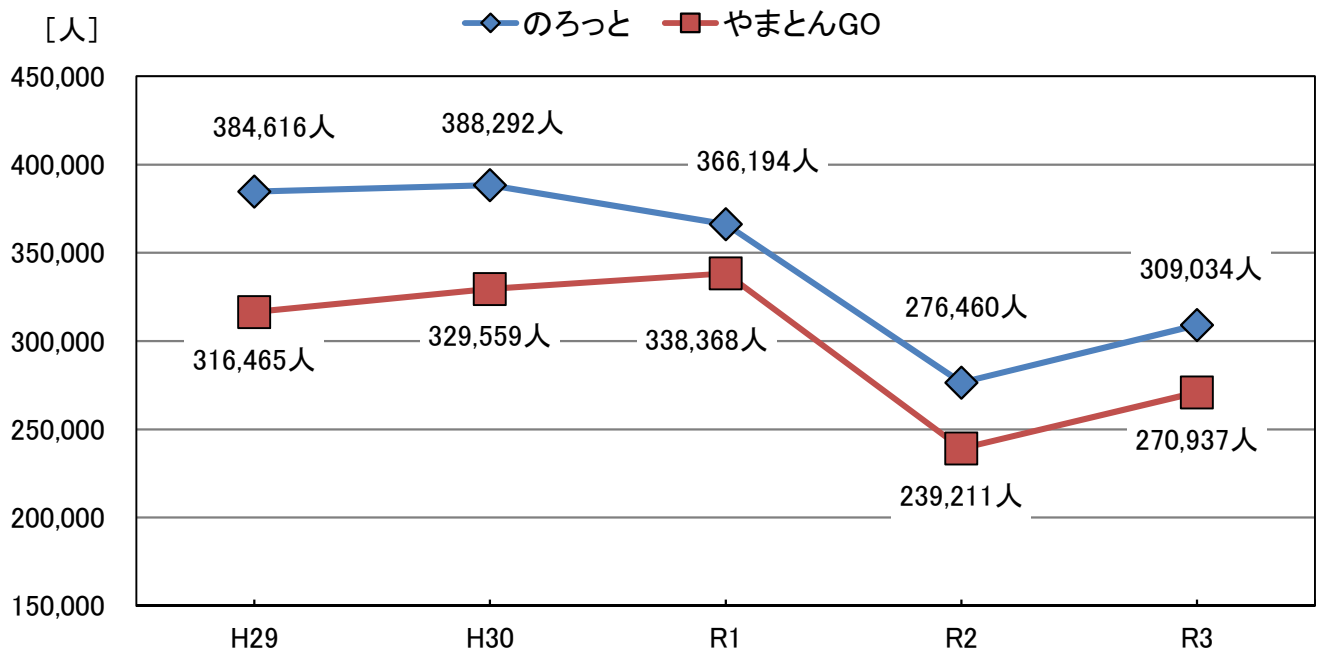


<参考データ>

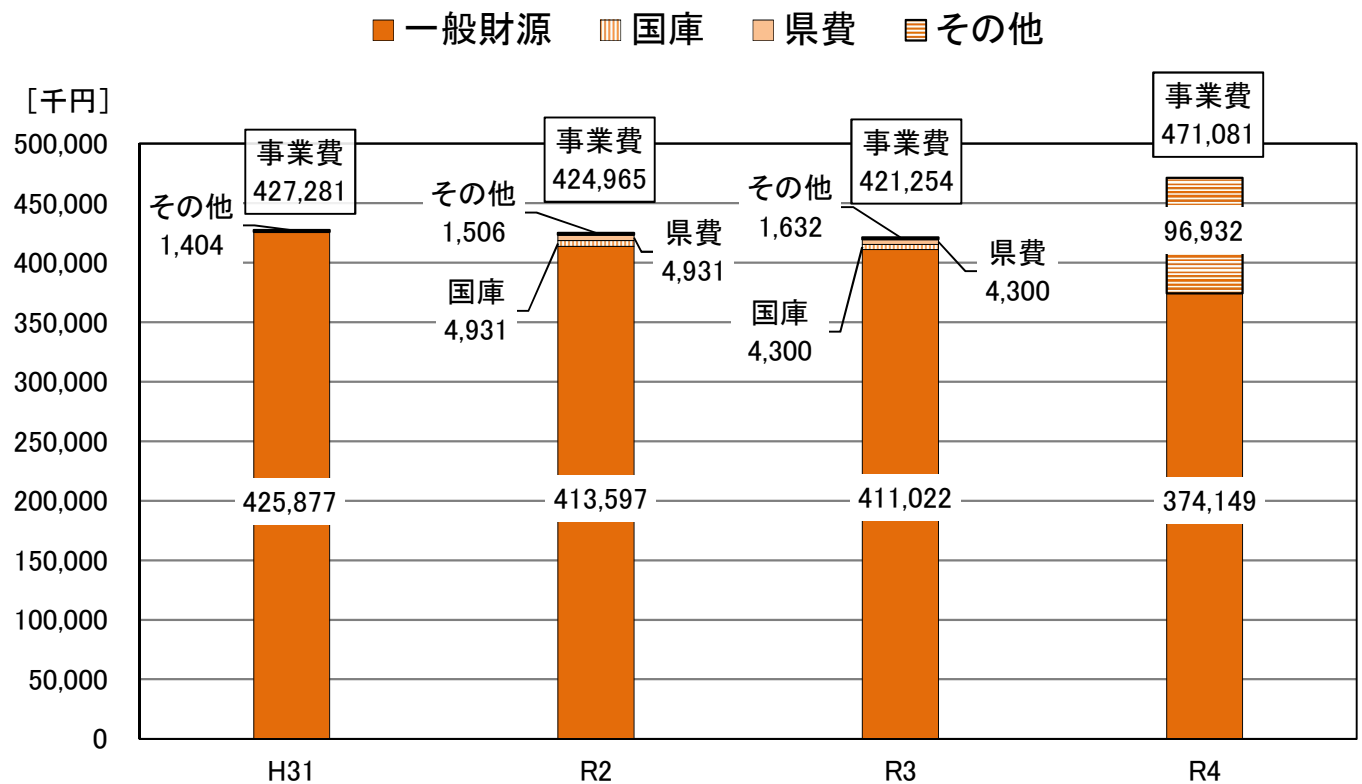
3. コミュニティバスルート



4. コミュニティバスの利用者数(内訳)



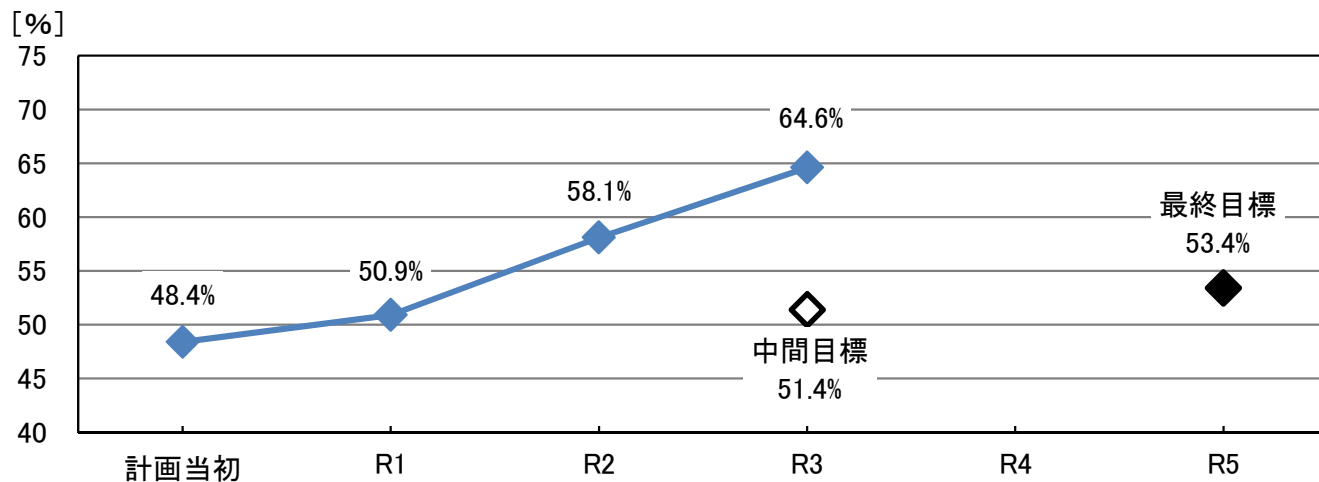
5. 予算額の推移(めざす成果6-3-1に位置づけている事業のみ)



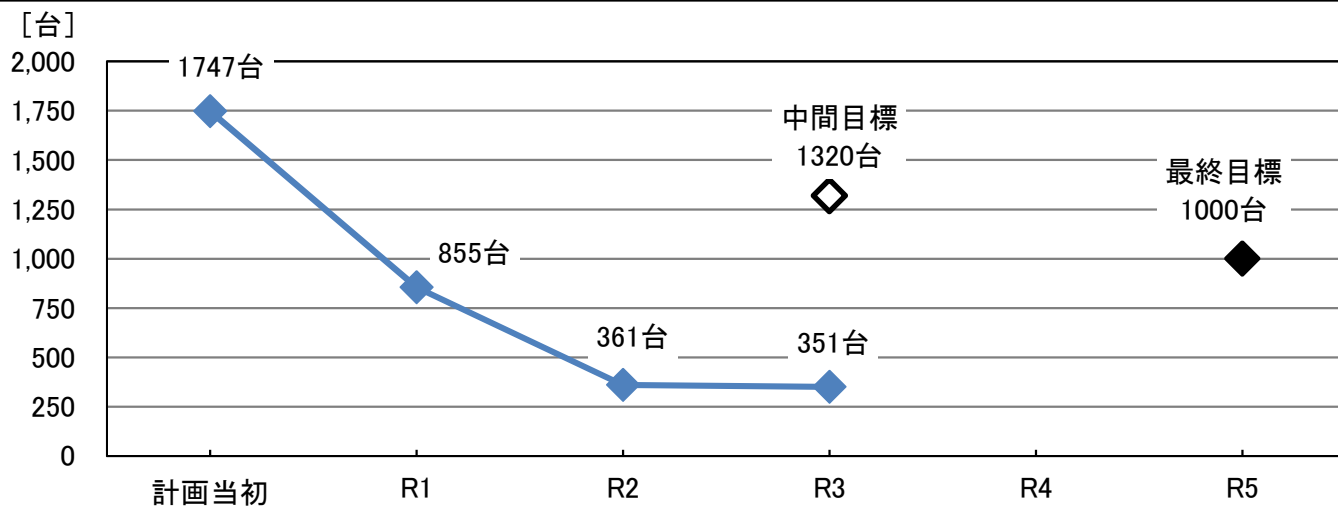
めざす成果6-3-2 自転車を安全で快適に利用している

<成果を計る指標>

1. 指標① 自転車の適正通行率

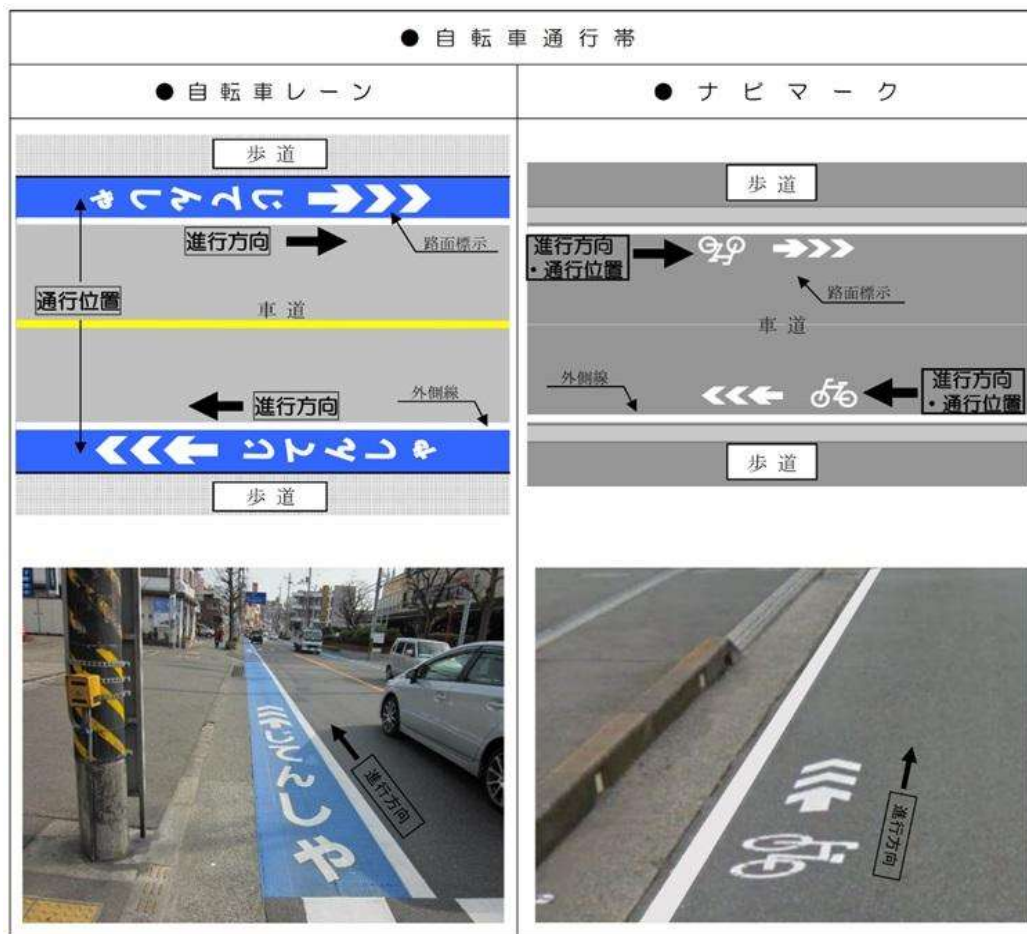


2. 指標② 撤去が必要となる違法駐輪の台数 ※各駅周辺の自転車等放置禁止区域内における台数



3. 自転車通行空間の整備

◆自転車通行帯(自転車レーン・ナビマーク)



◆自転車マナーアップ対策

- ・自転車利用者のマナー向上を図るため、歩道上に自転車の歩道通行を抑制する路面シート等を設置してるもの。

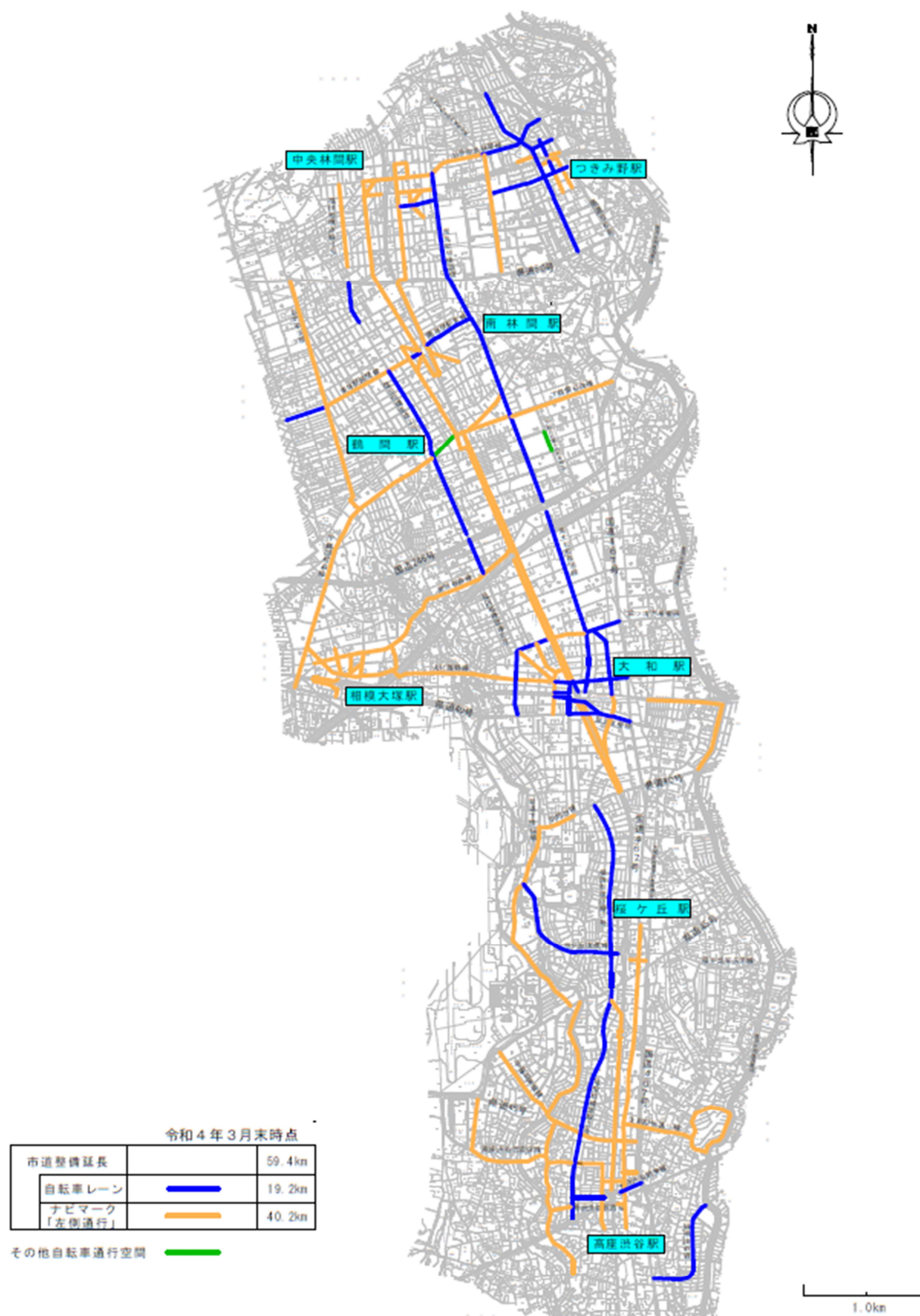


◆歩行者と自転車を分離した自転車通行空間(大和歩行者専用道2号線)

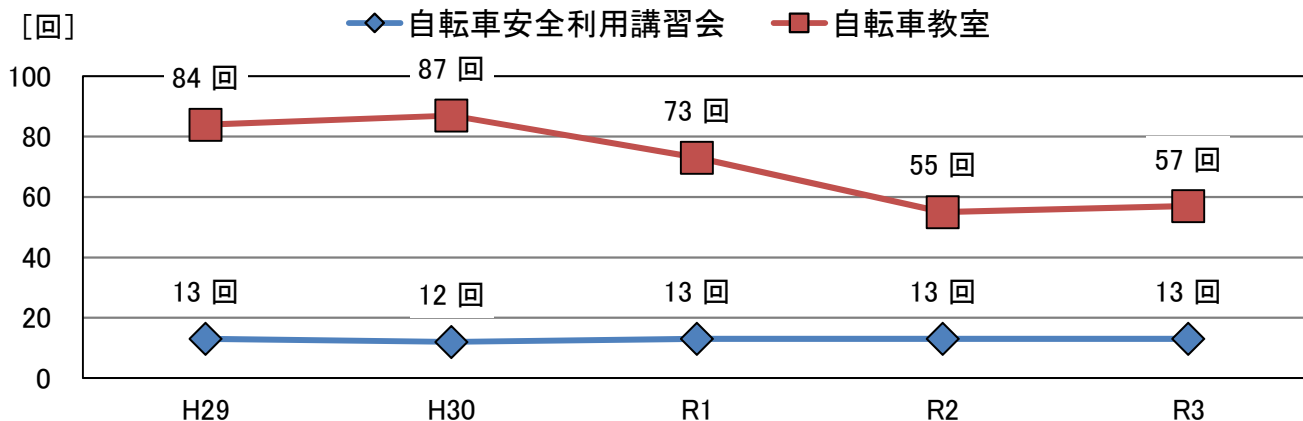


◆整備状況図

自転車通行空間整備状況図



4. 自転車安全利用講習会等の実施状況



※書面開催を含みます。

※自転車教室は、自転車安全利用講習会以外の全ての自転車についての交通安全教室(小中学校や自治会等で開催)の件数となります。

5. TSマーク取得助成、幼児・児童用ヘルメット購入助成の実施状況

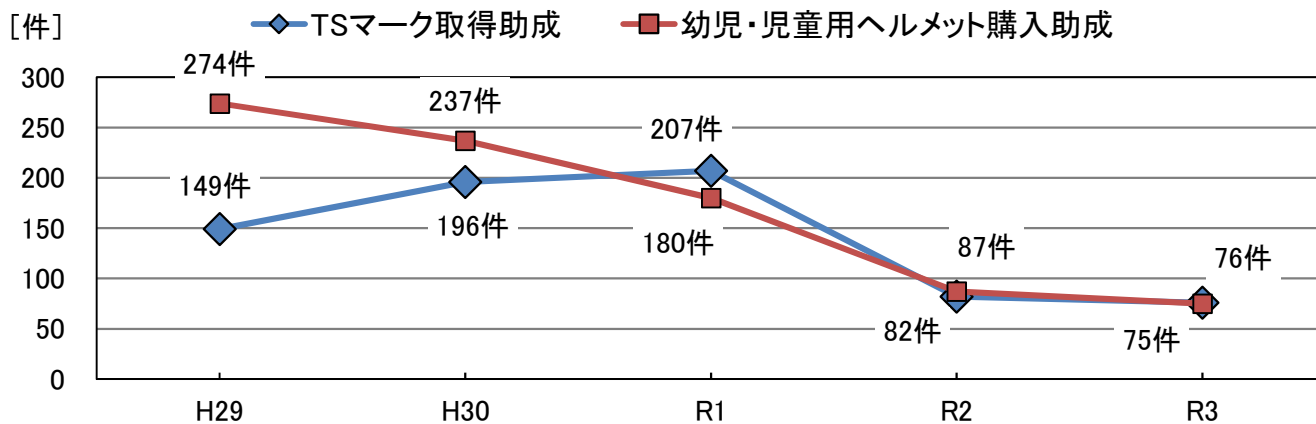
◆TSマーク取得助成

TSマークとは、道路交通法に定められた大きさ、構造、性能等の基準に適合した安全な普通自転車であることのしるしです。大和市では取得費用(整備点検時には2,000円(部品交換費用は別途)、新車購入時には1,000円)のうち1,000円(新車購入時は500円)を差し引いた金額でTSマークを取得することが可能となっています。

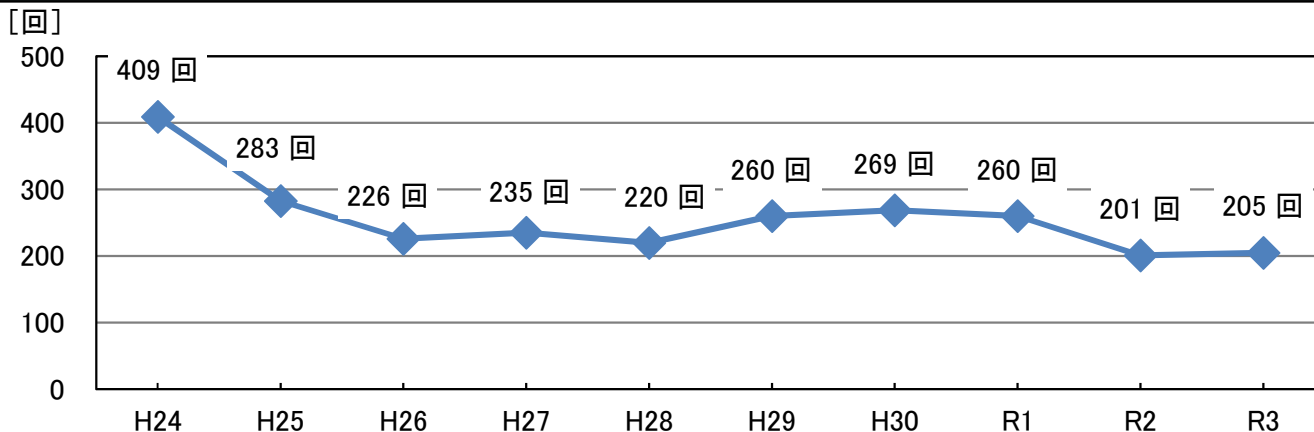
※TSマークを取得すると、自転車に保険が付帯されます。

◆幼児・児童用ヘルメット購入助成

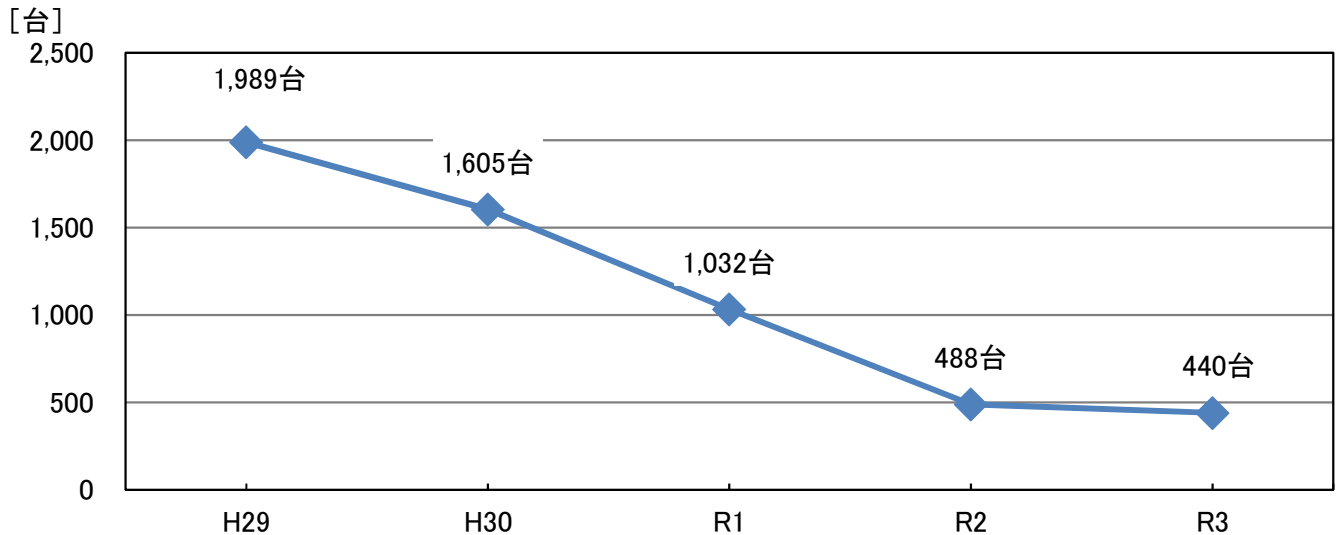
13歳未満の幼児・児童が使用するヘルメット(SGマーク付きの新品)の購入費(上限2,000円)を助成しています。



6. 自転車事故の推移

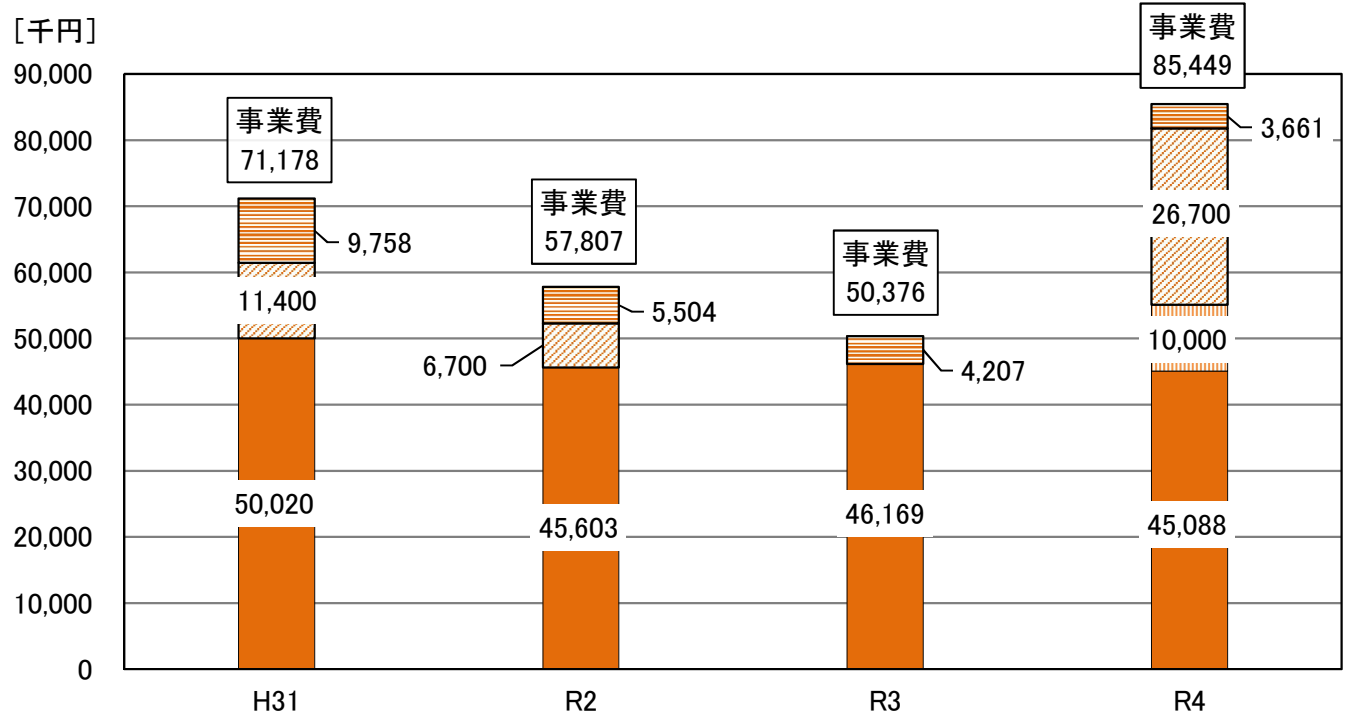


7. 放置自転車の移動台数 ※市内全体の台数



8. 予算額の推移(めざす成果6-3-2に位置づけている事業のみ)

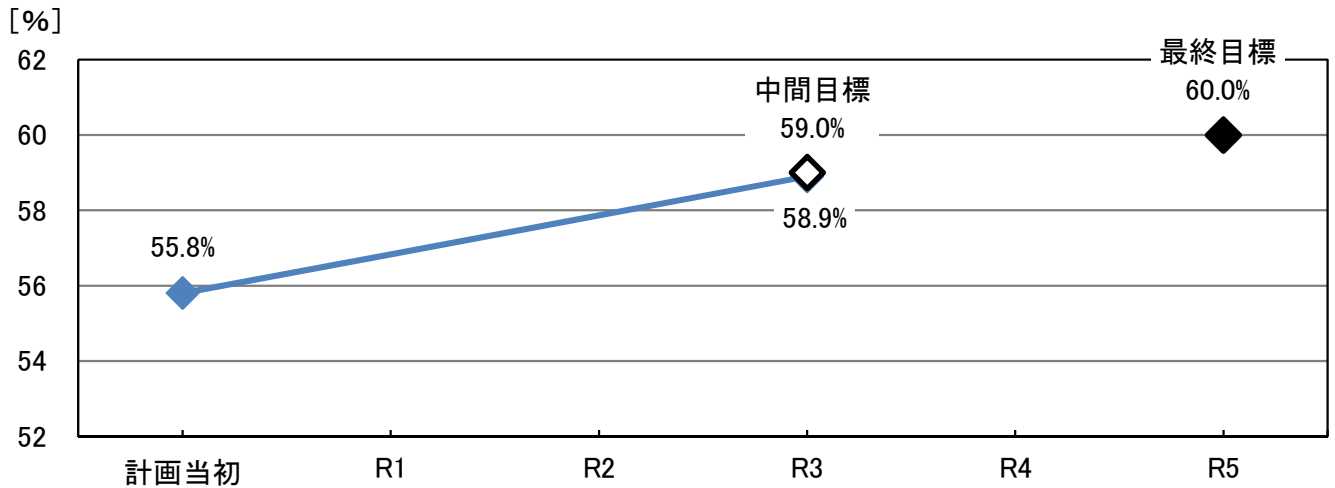
■ 一般財源 ▨ 国庫 ▩ 市債 ▪ その他



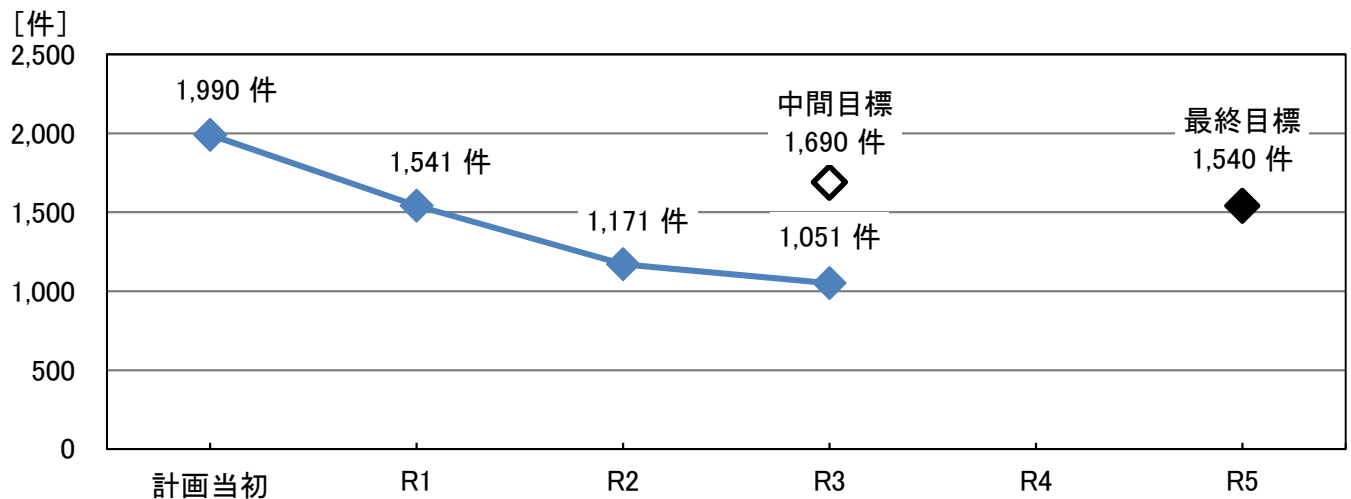
めざす成果5-2-1 犯罪の不安を感じることなく暮らしている

<成果を計る指標>

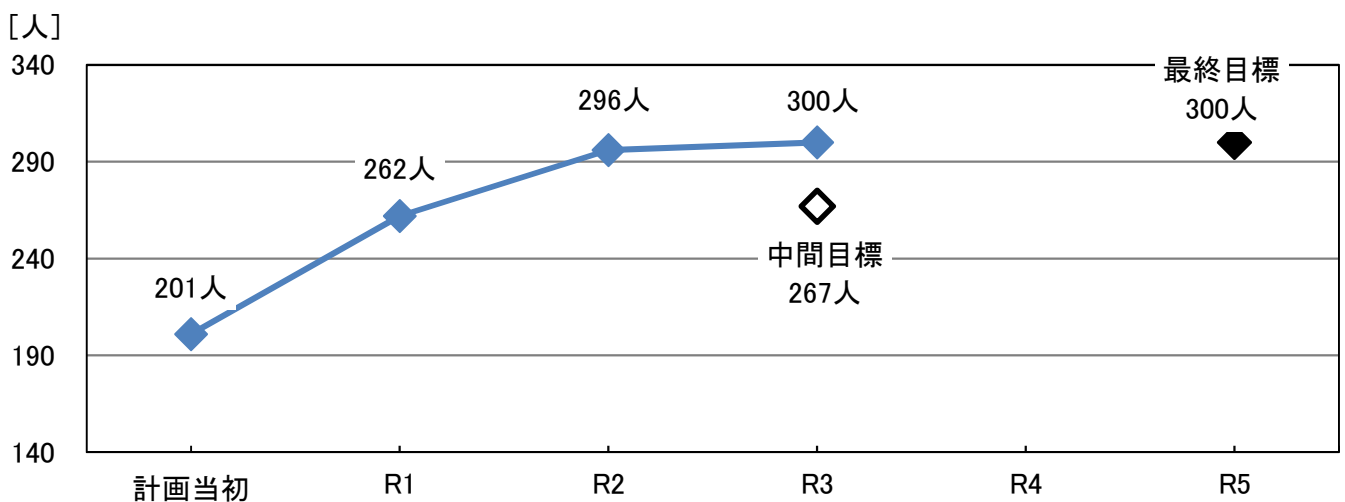
1. 指標① 以前に比べて、大和市の治安は良くなったと思う市民の割合



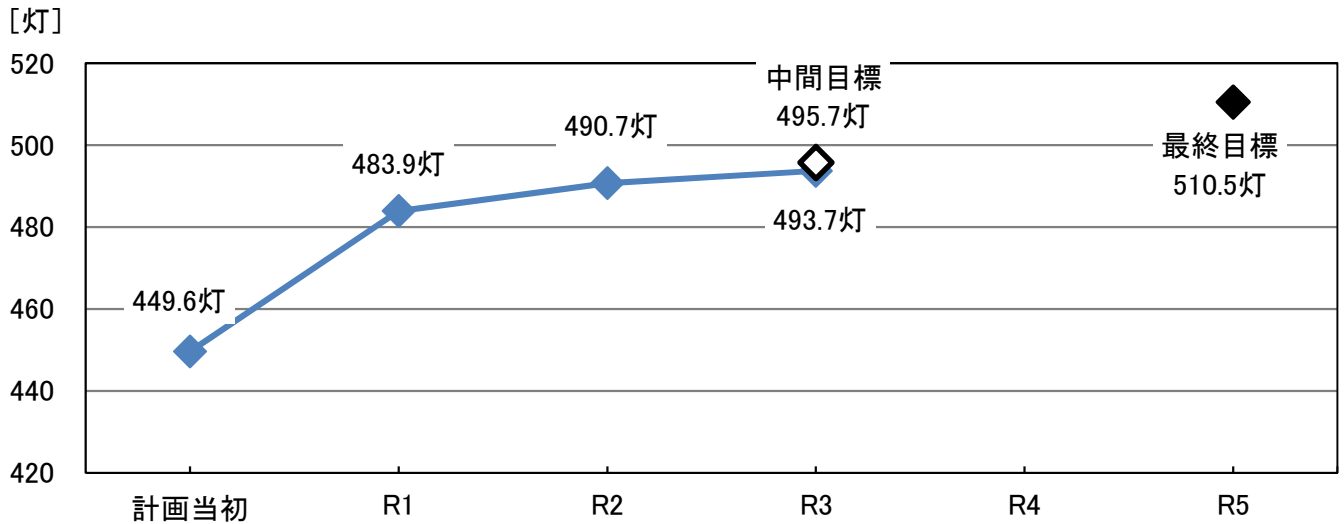
2. 指標② 年間犯罪認知(発生)件数



3. 指標③ 安全安心サポーター活動登録者数(累計)

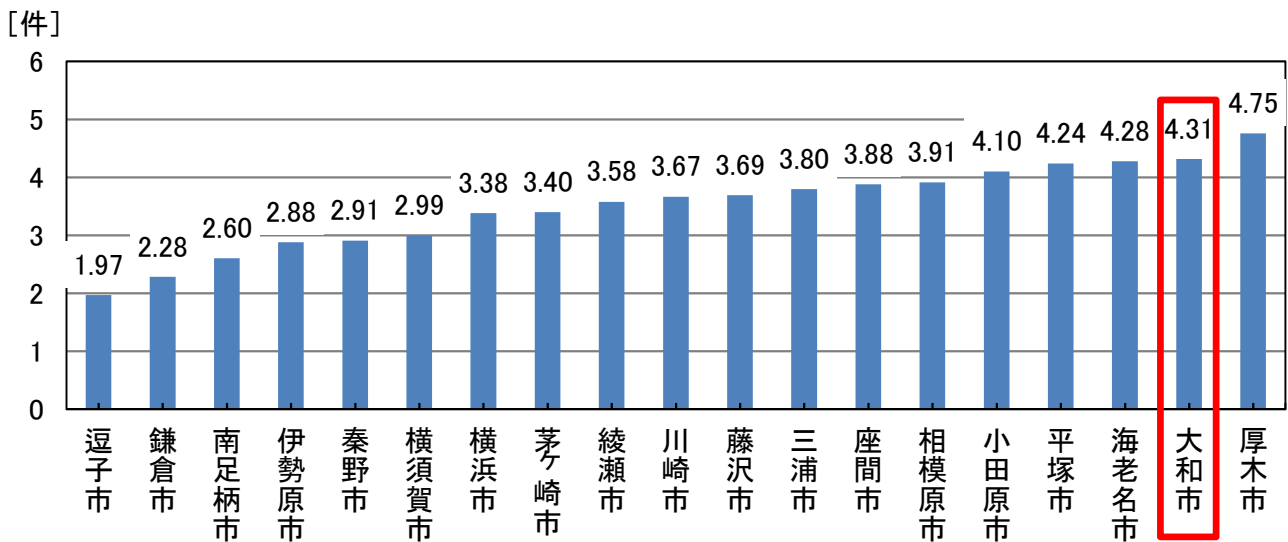


4. 指標④ 市域面積(km²)あたりの防犯灯設置数(累計)



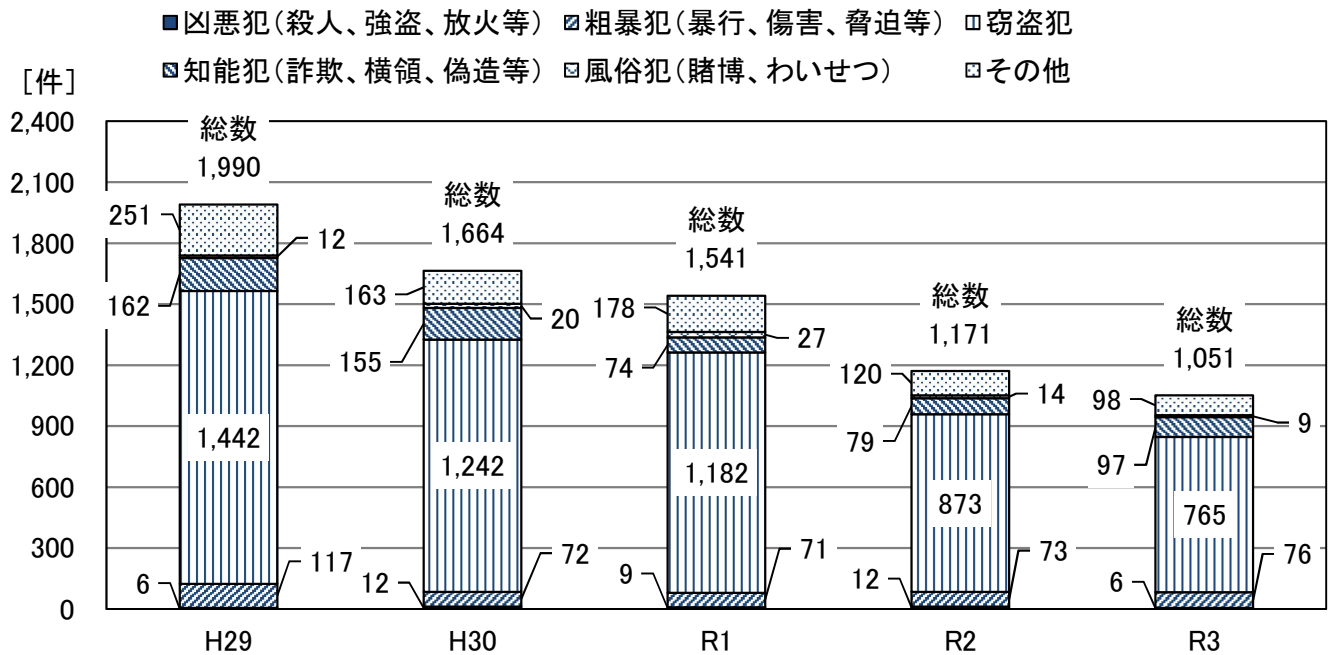
<参考データ>

5. 神奈川県内各市の犯罪認知件数 令和3年(人口1,000人あたり)



※神奈川県警察 犯罪統計資料及び神奈川県人口統計調査(月報)より算出

6. 大和市の犯罪認知件数内訳



※大和警察署提供データ(暫定値)を基に作成

7. 青色防犯パトロール

- 自治体や自治会などが青色回転灯を装備した車両によりパトロールを実施します。
- 車両による広範囲の防犯パトロールが可能であり、青色回転灯が遠くからも目立つことから犯罪の抑止効果が非常に高いと言われています。

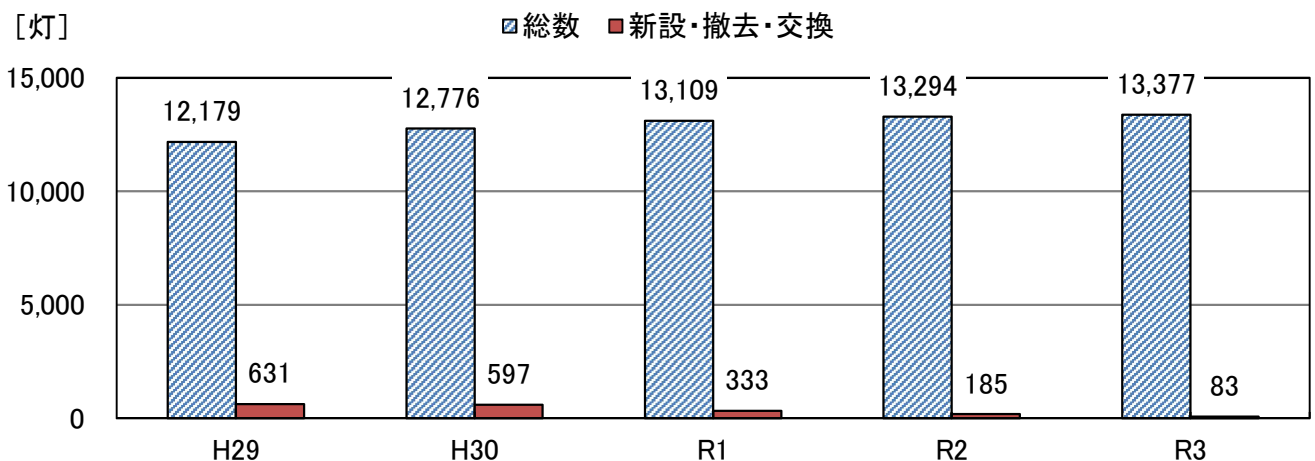
◆青色防犯パトロールを行っている市内自治会

自治会名		登録台数
1	公所自治会	1台
2	つきみ野自治会	1台
3	下鶴間連合自治会	2台
4	中央林間内山自治会	1台
5	南林間西南自治会	1台
6	上草柳東地区連合自治会	5台
7	相模大塚北自治会	1台
8	中央林間西自治会	1台
合計		13台

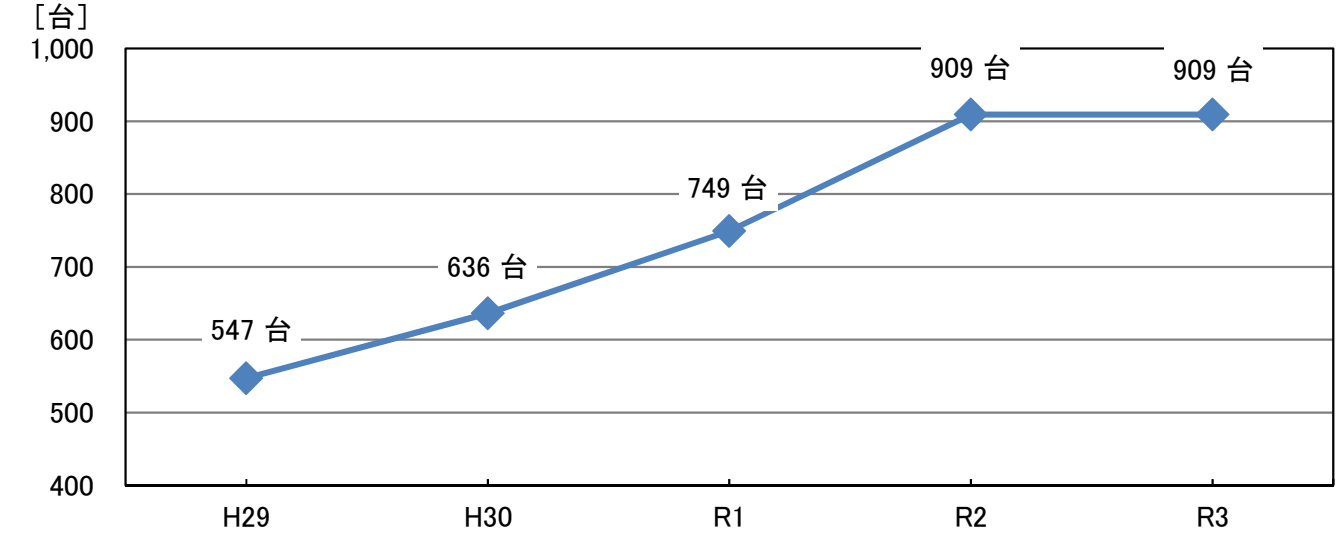
※青色防犯パトロールカー



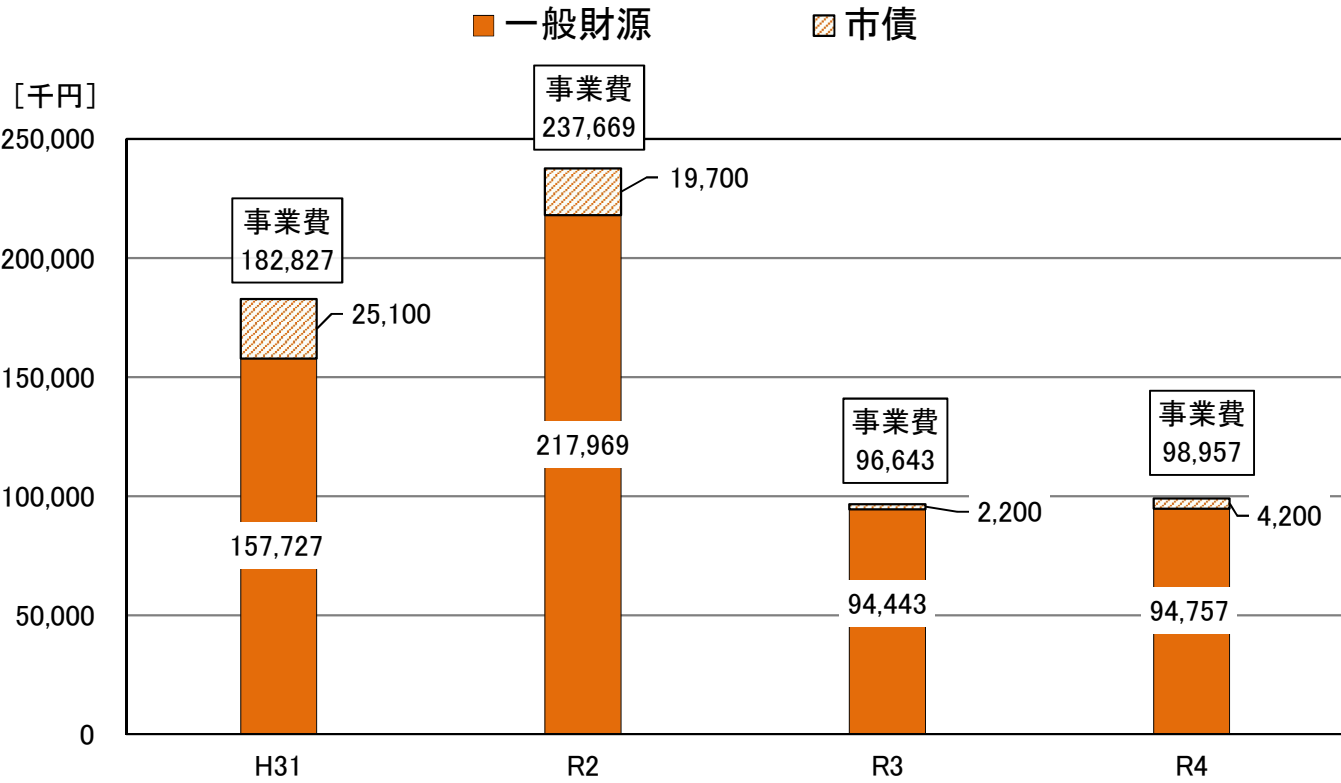
8. 防犯灯の総数(各年度末時点)及び新設・交換・撤去した数



9. 維持管理している街頭防犯カメラ台数



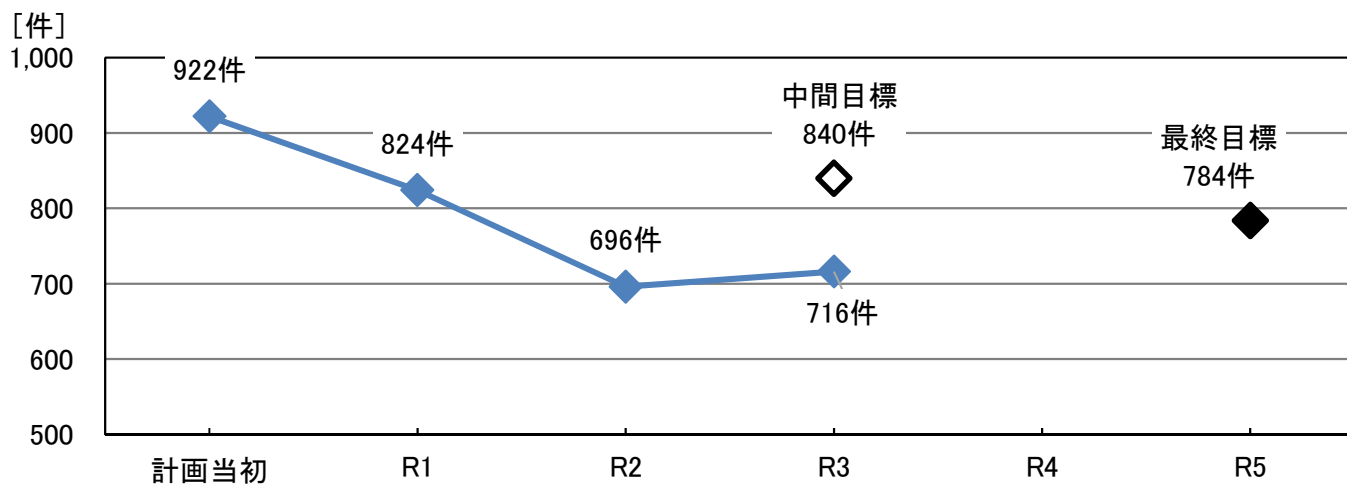
10. 予算額の推移(めざす成果5-2-1に位置づけている事業のみ)



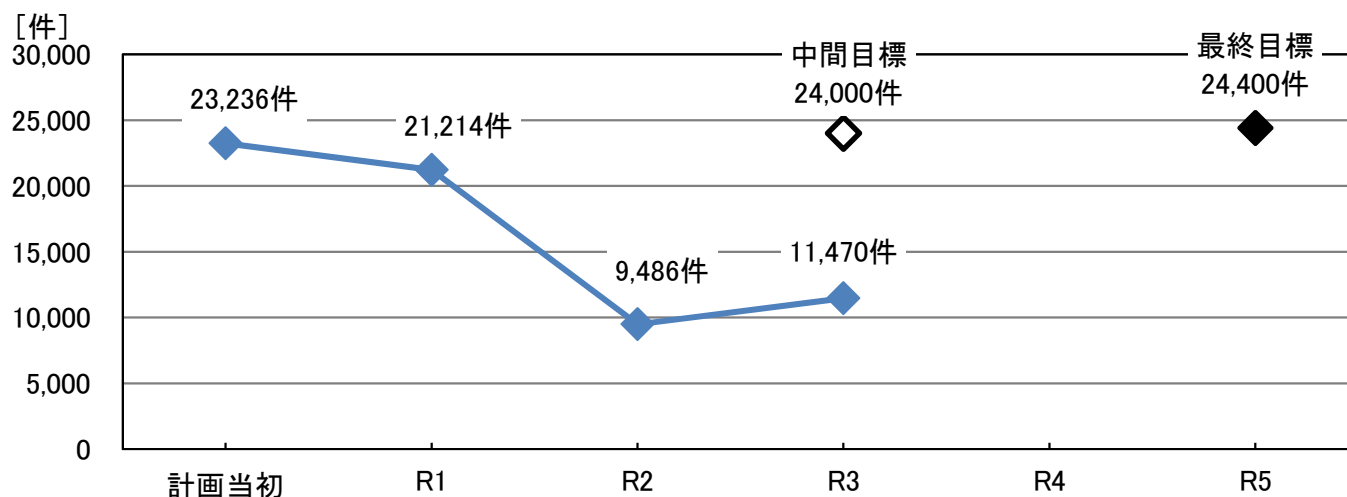
めざす成果5-2-2 交通事故の不安を感じることなく暮らしている

<成果を計る指標>

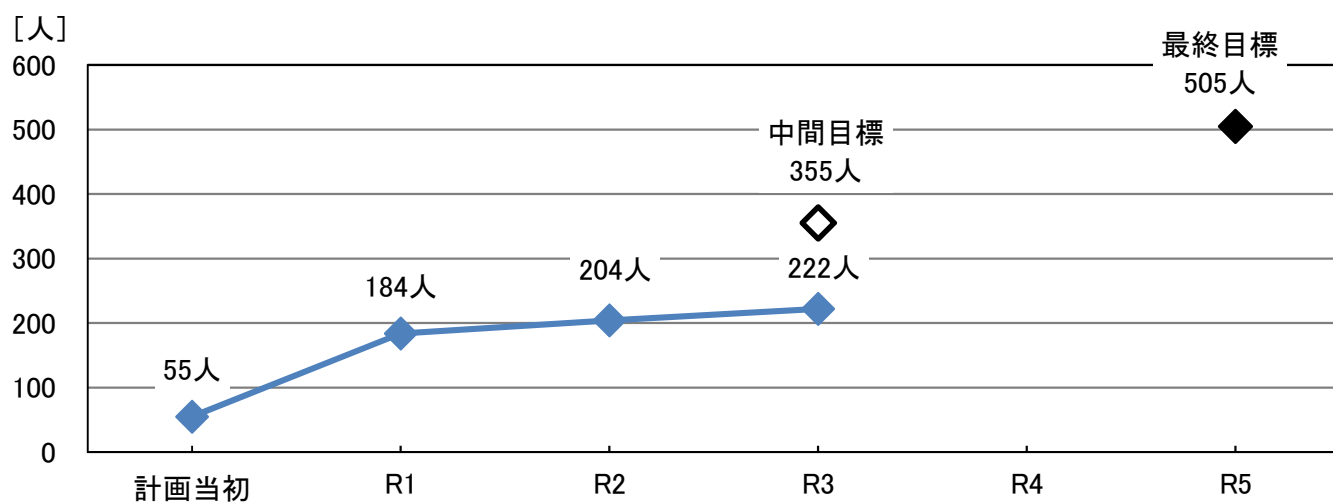
1. 指標① 交通人身事故発生件数



2. 指標② 交通安全教室等参加者数(イベントを除く)

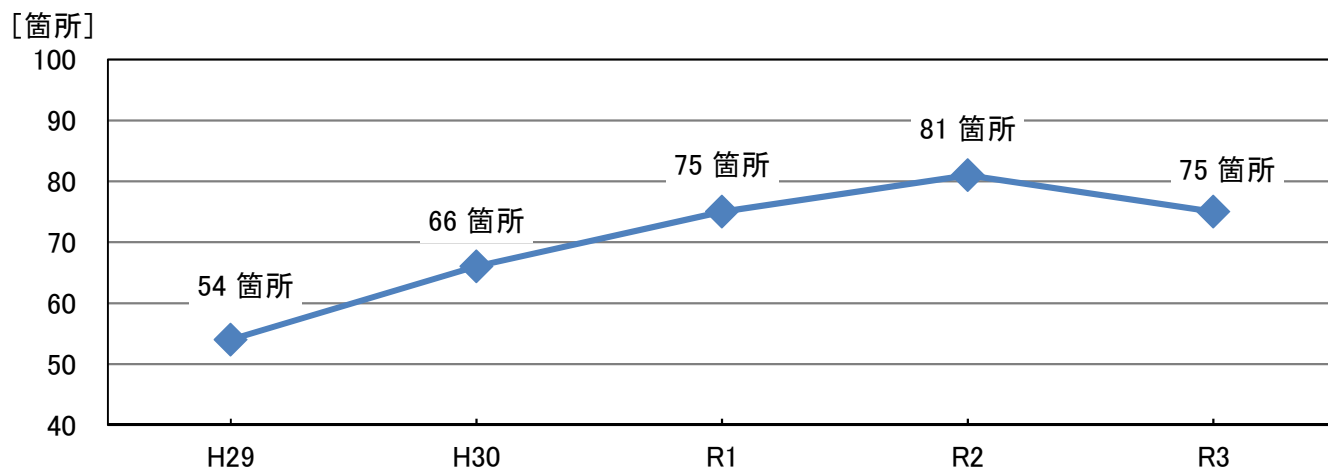


3. 指標③ シルバードライブチェック実施者数(累計)

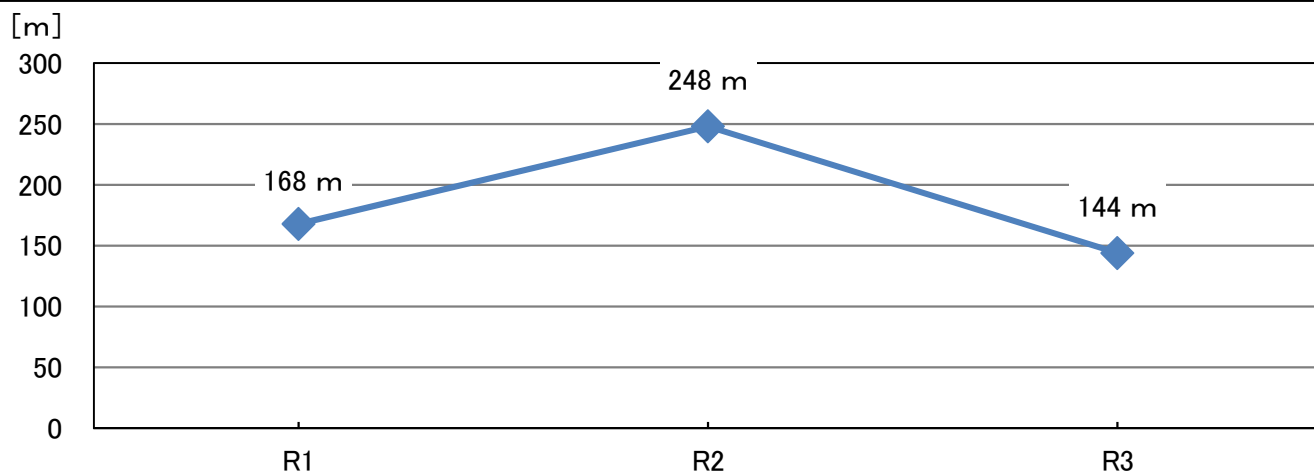


<参考データ>

4. 交通安全施設(カーブミラー、道路照明灯等)の整備箇所数

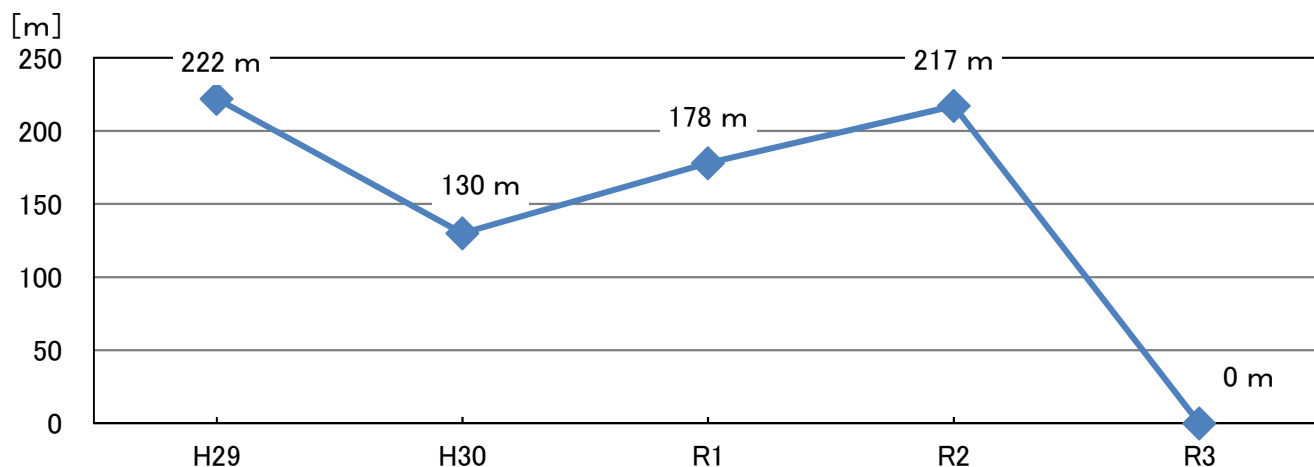


5. 福田相模原線(上草柳地区)における歩道の整備延長



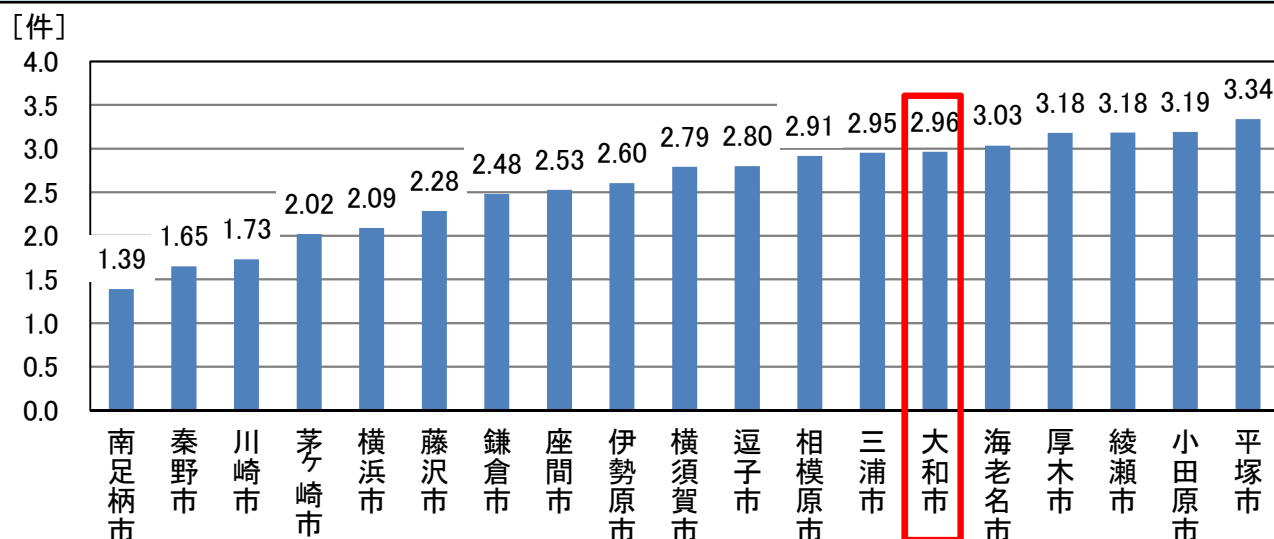
6. 市内歩道の改良延長

○マウントアップ(歩道面が道路面より高く、縁石と同じ高さの構造)の歩道を段差の小さい歩道とする等の改良を実施した延長を表します。



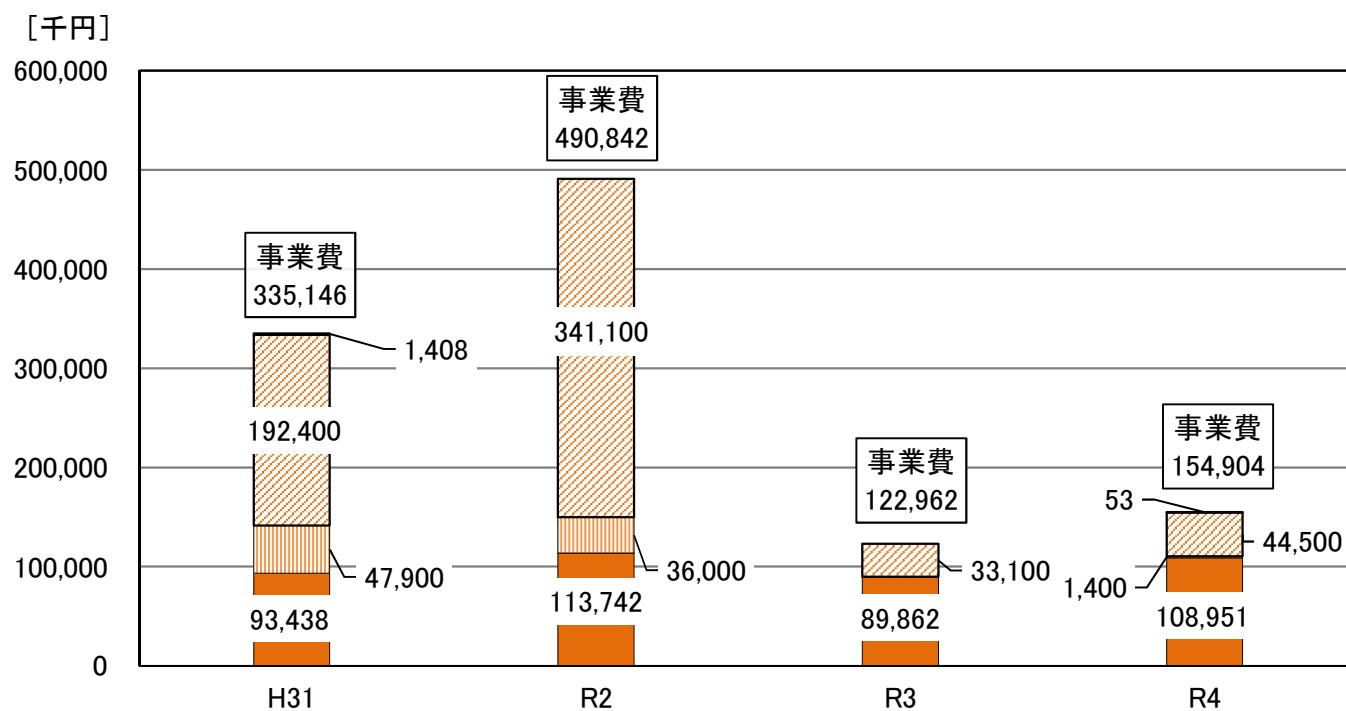
※令和3年度は財政状況を鑑み、実施しませんでした。

7. 神奈川県内各市の交通人身事故件数 令和3年(人口1,000人あたり)



8. 予算額の推移(めざす成果5-2-2に位置づけている事業のみ)

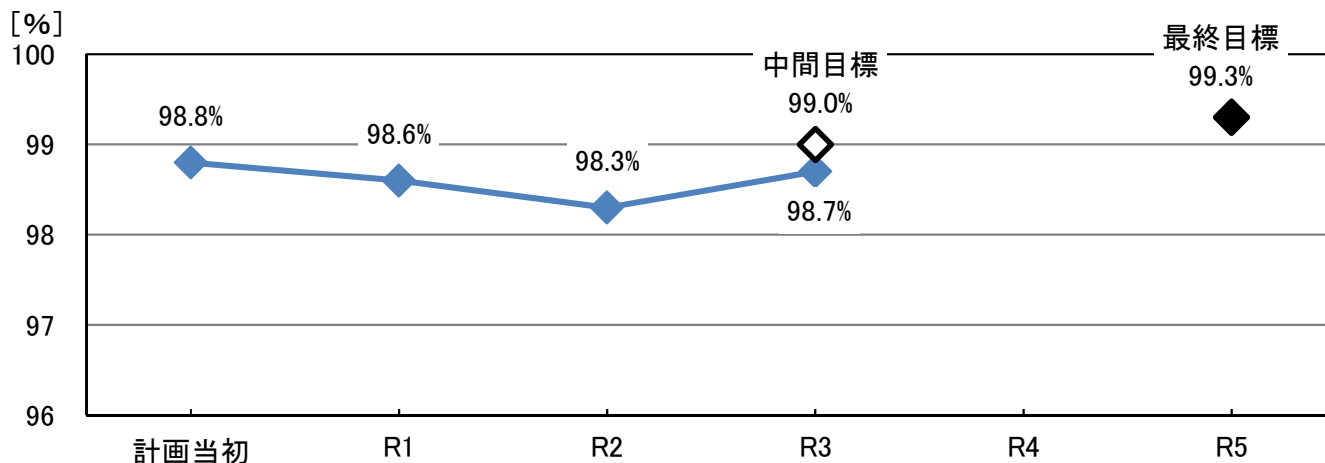
■ 一般財源 ■ 国庫 ■ 市債 ■ その他



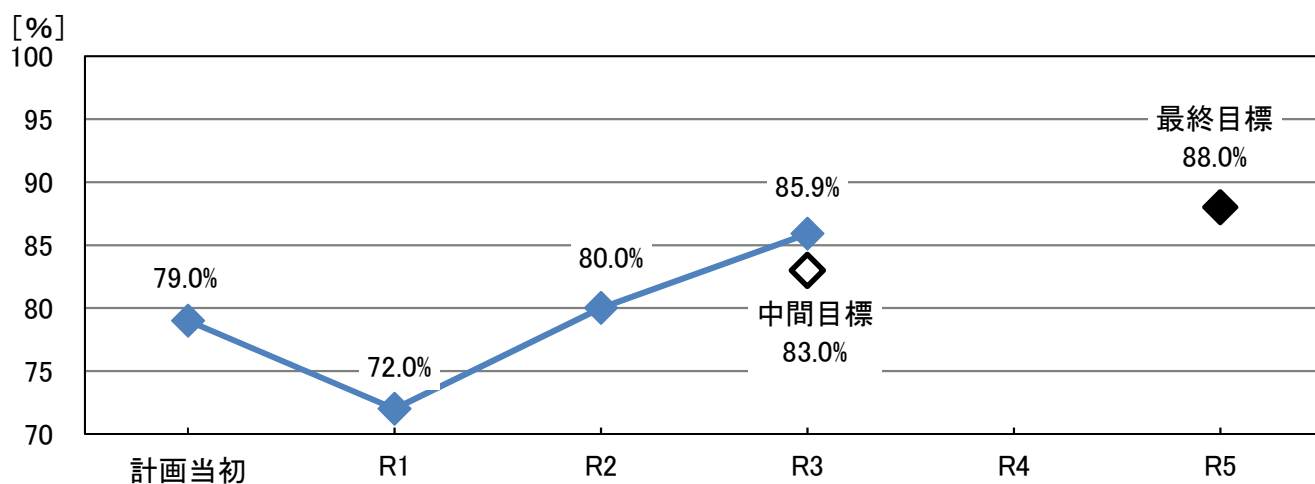
めざす成果5-2-3 安心して消費生活を送っている

<成果を計る指標>

1. 指標① 消費生活相談の苦情件数のうち完結済みの割合

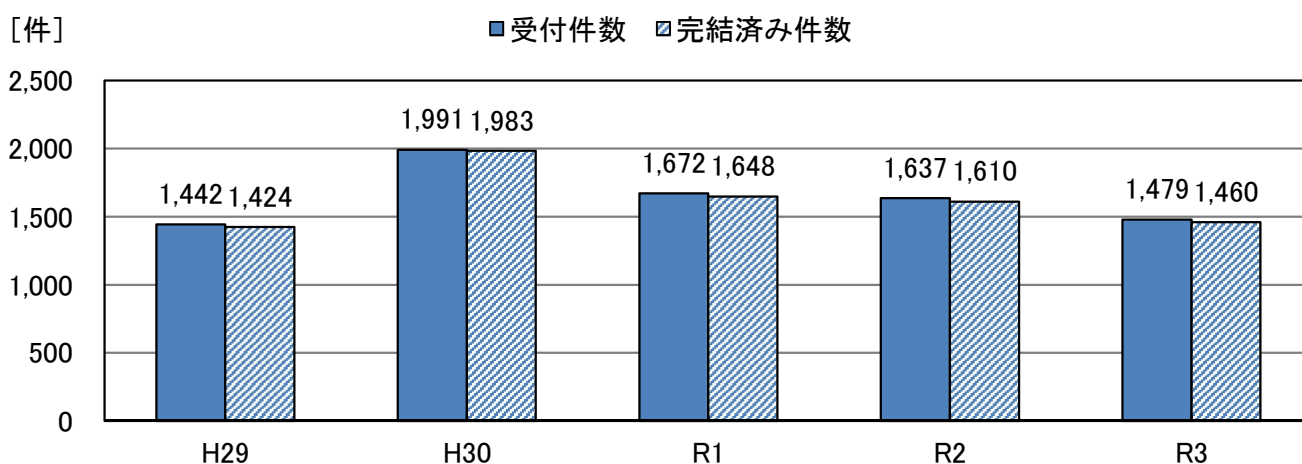


2. 指標② 消費生活センターの存在や役割について知っている市民の割合



<参考データ>

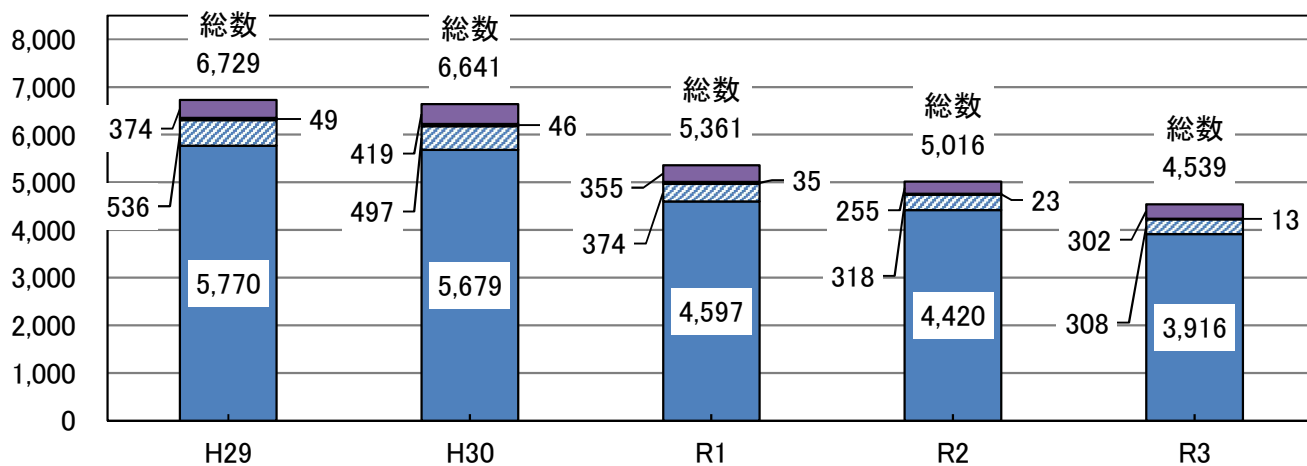
3. 消費生活相談件数



4. 市民相談件数

■ 市民一般相談・女性相談 ■ 法律相談 ■ 法律専門家に引き継ぐ多重債務相談 ■ その他の専門相談

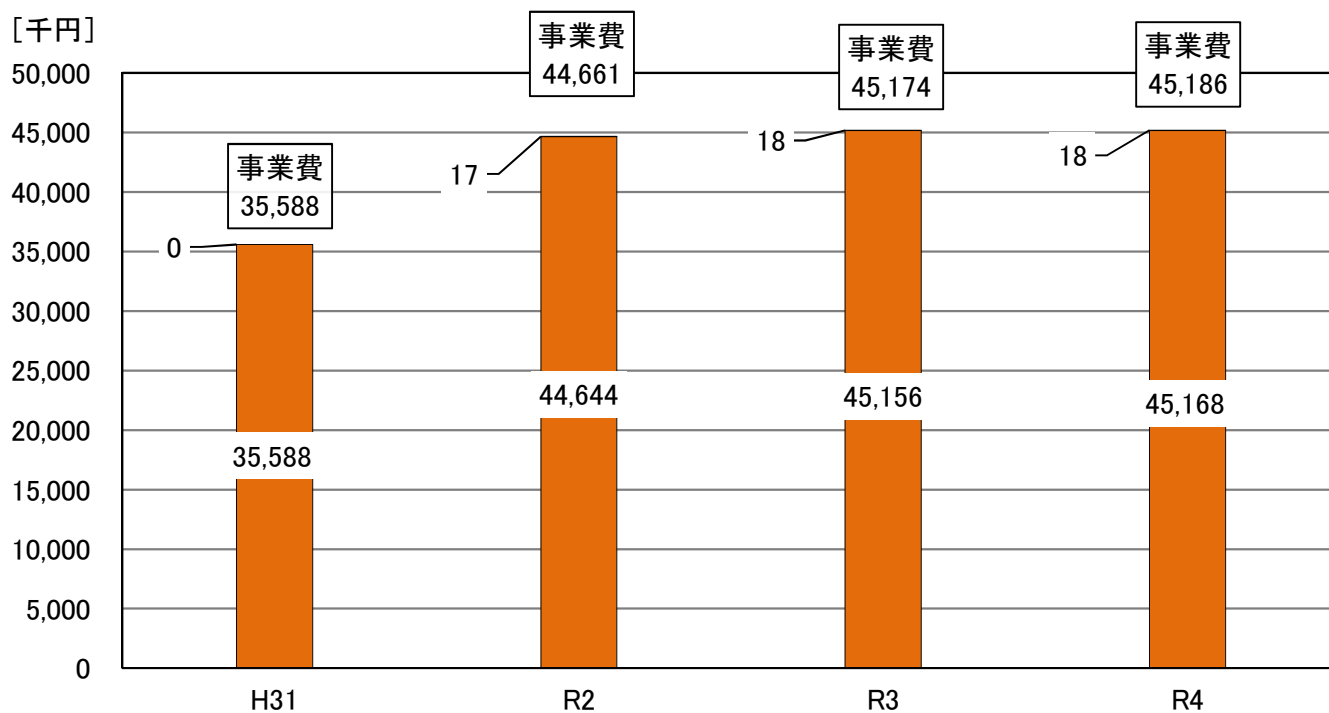
[件]



5. 予算額の推移(めざす成果5-2-3に位置づけている事業のみ)

■ 一般財源 ■ 県費

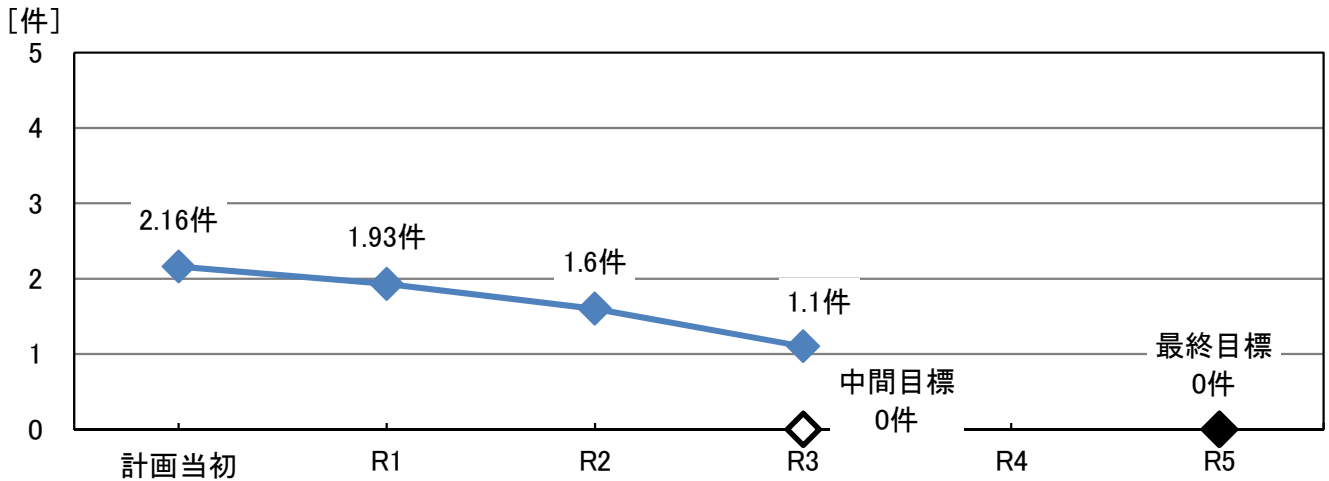
[千円]



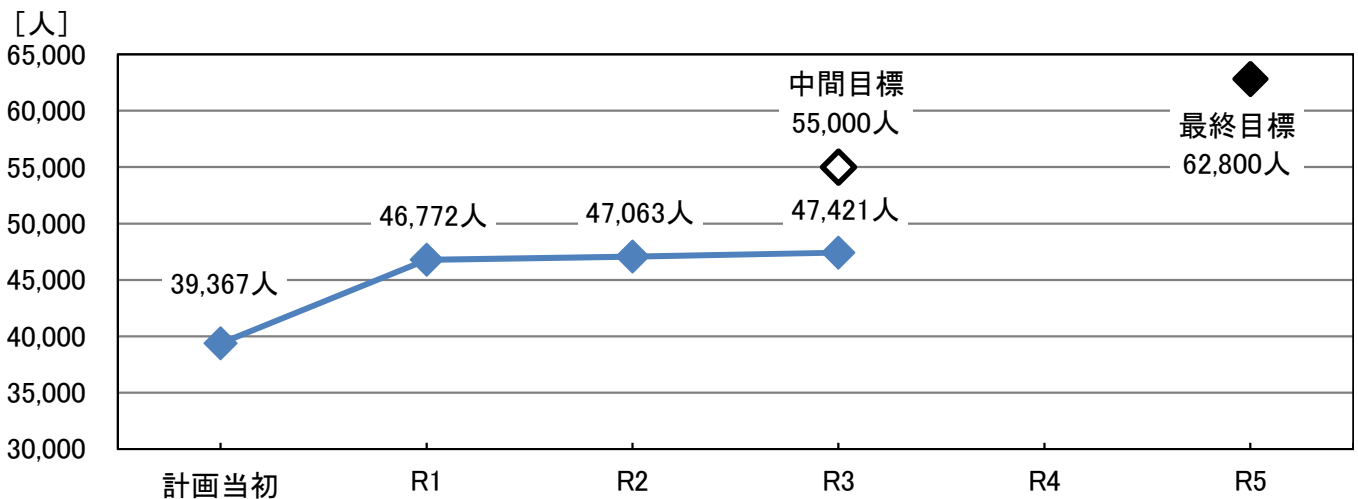
めざす成果5-2-4 十分な消防力が整っている

<成果を計る指標>

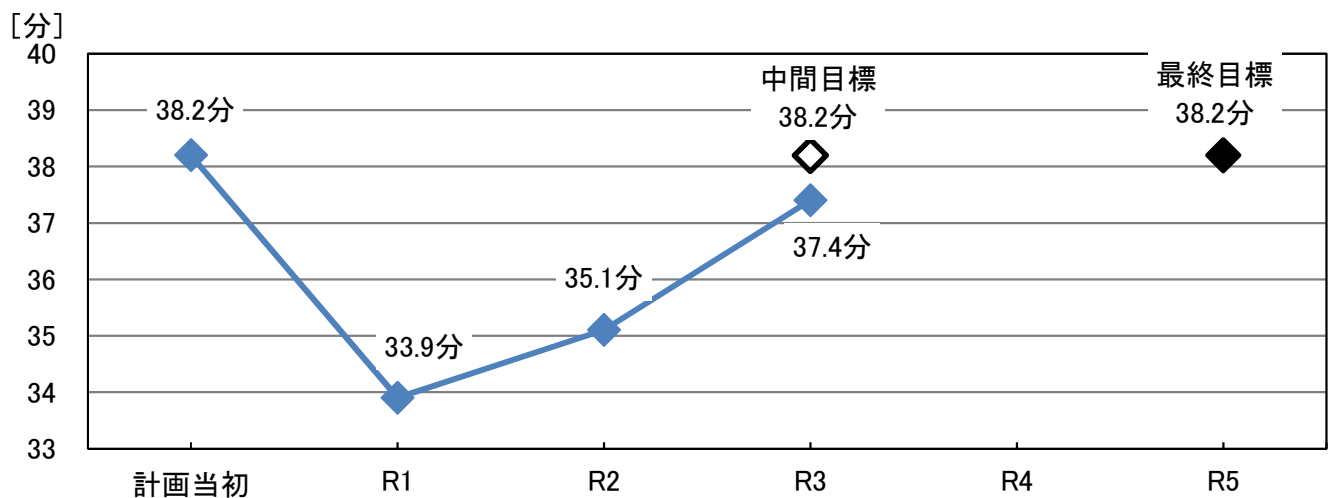
1. 指標① 火災発生率(人口1万人あたりの火災発生件数)



2. 指標② 救命講習受講者資格取得者数(累計)

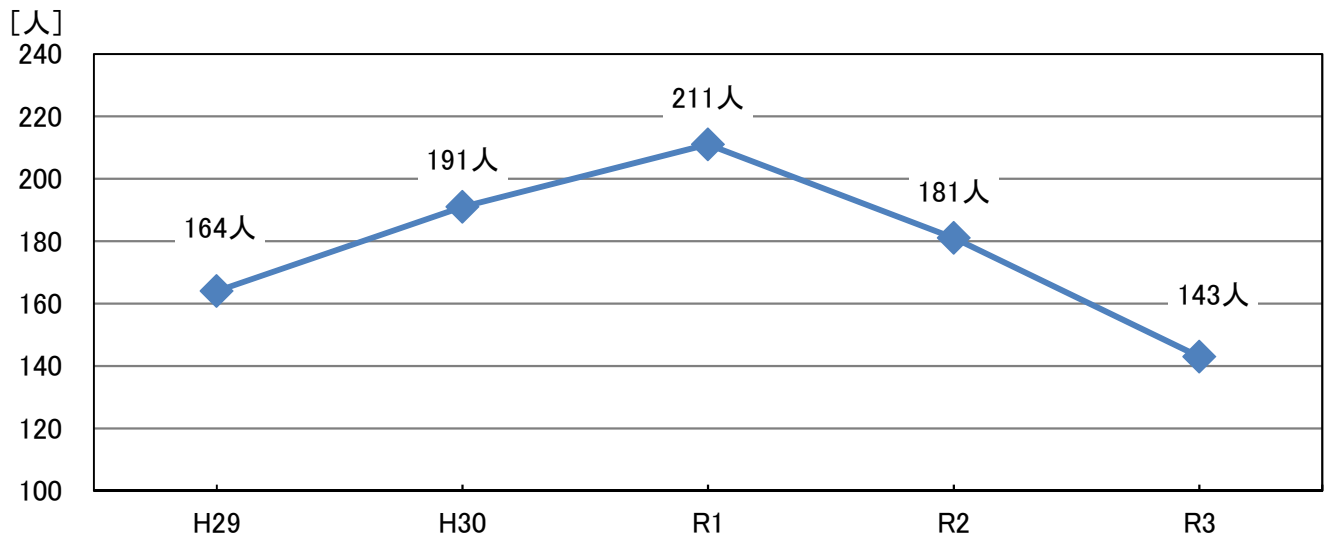


3. 指標③ 救急車の医療機関到着までの所要時間

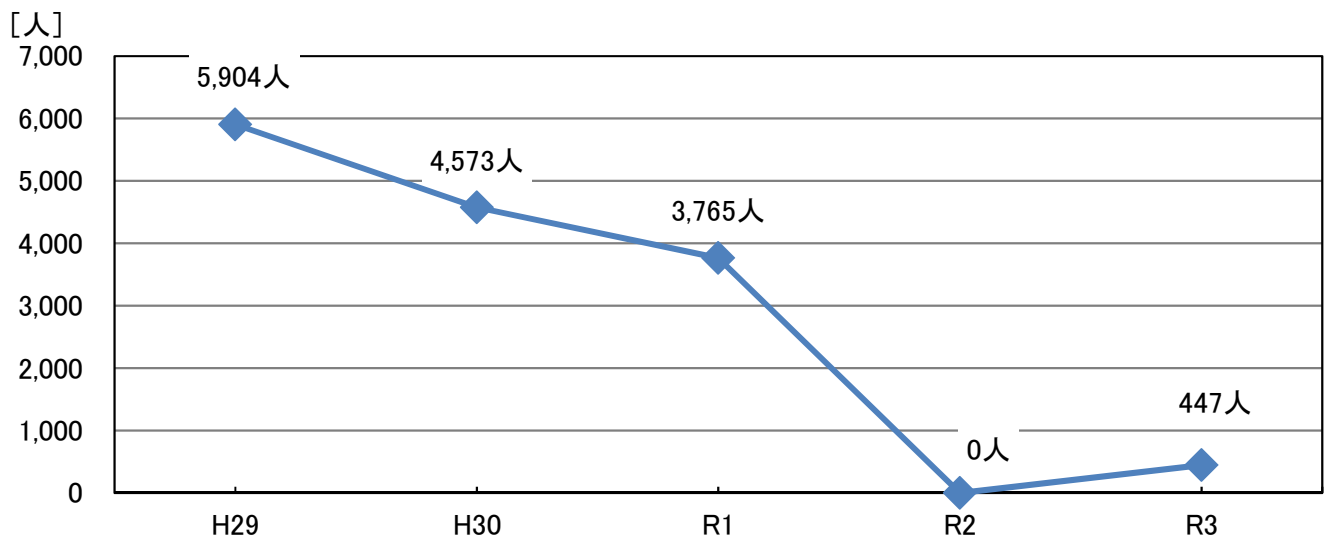


<参考データ>

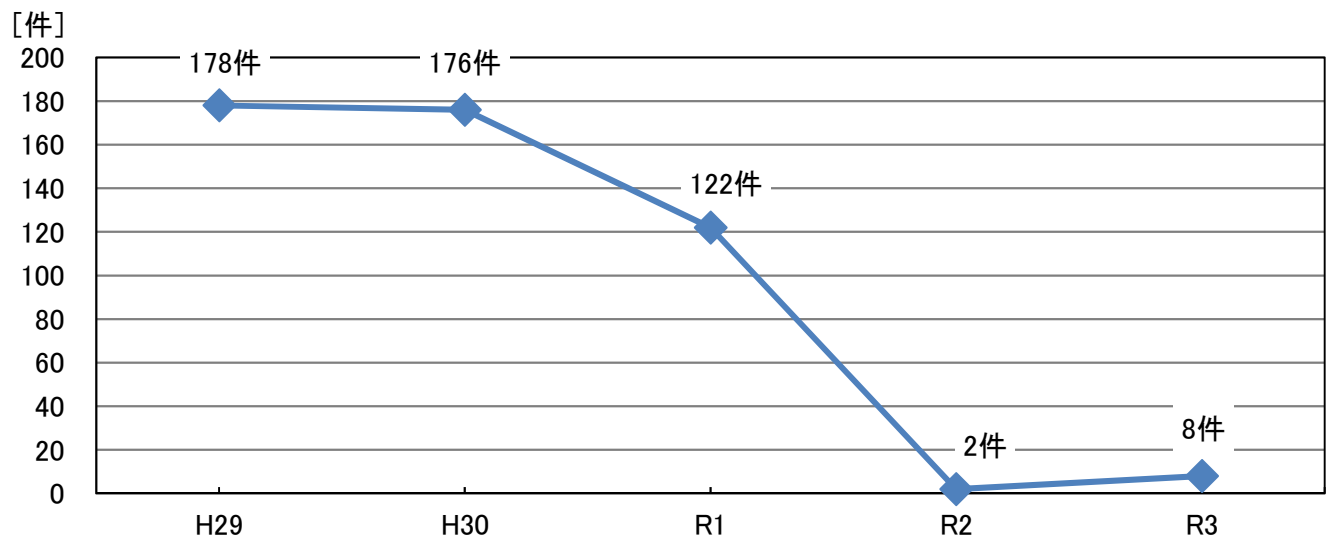
4. 少年消防団の入団者数



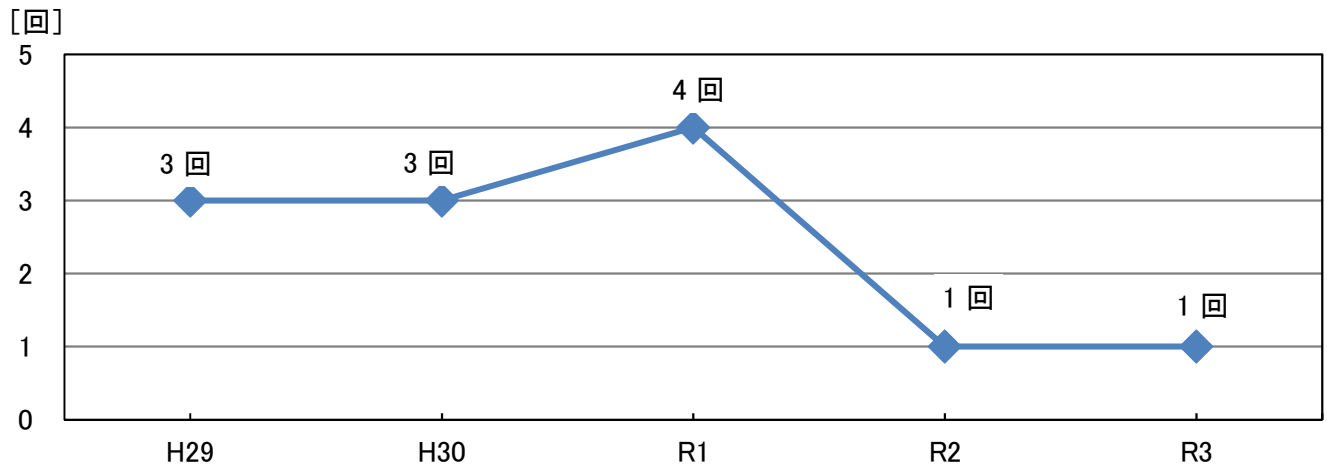
5. 少年消防団の訓練参加人員(延べ人数)



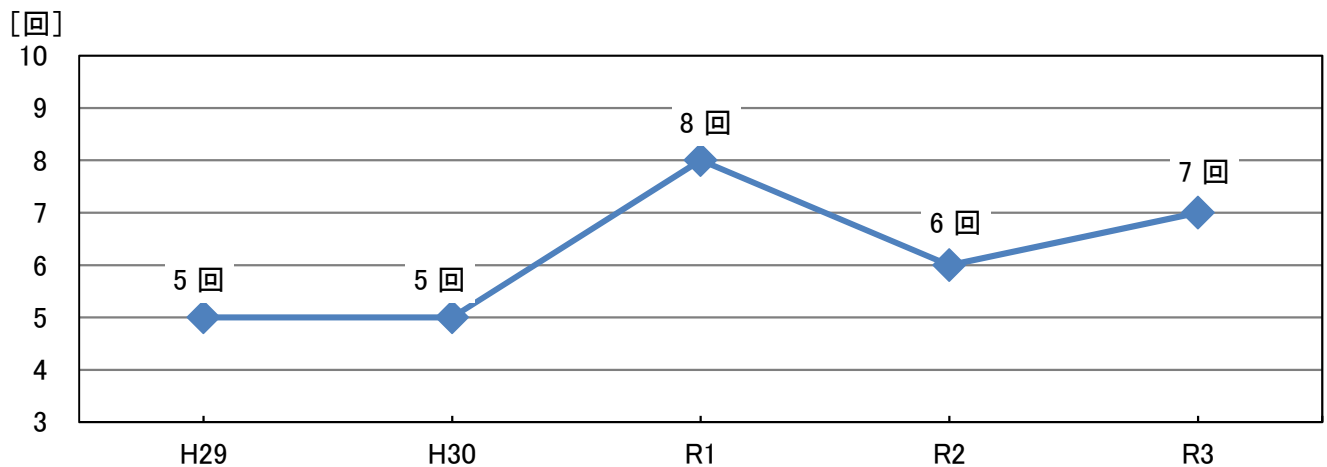
6. 住宅防火訪問診断件数



7. 防火講話(住宅防火対策に係る講話)の実施回数



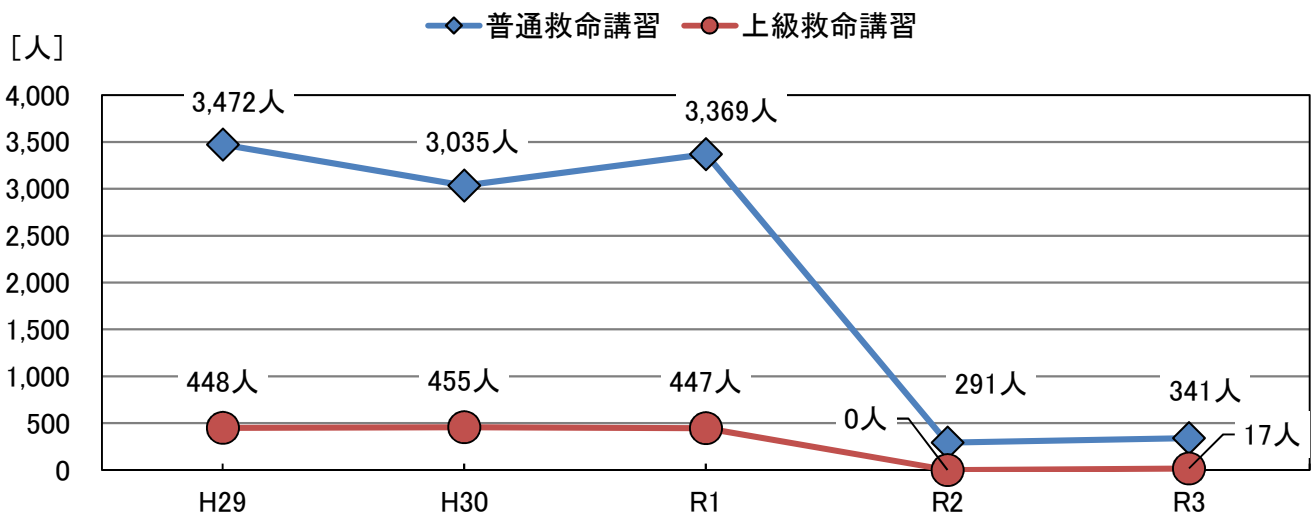
8. 住宅用火災警報器の広報実施回数



9. 救命講習会の参加者数

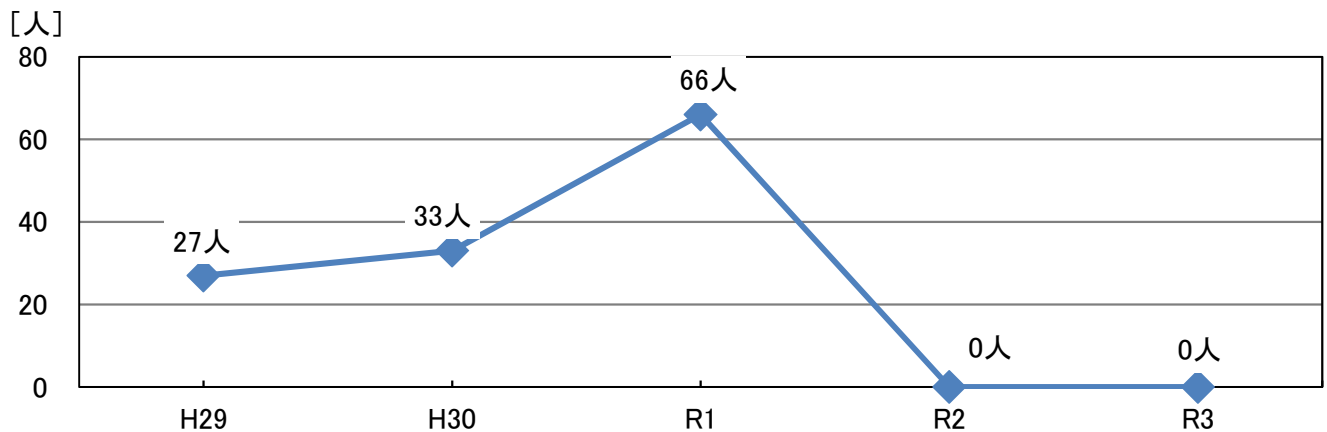
○消防庁の「応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱」において、市町村の消防機関の行う住民に対する応急手当の普及啓発活動のひとつに普及講習が定められており、その講習の種類として、普通救命講習と上級救命講習があります。

- ・普通救命講習：心肺蘇生法及び大出血時の止血法について学びます。
- ・上級救命講習：心肺蘇生法、大出血時の止血法、傷病者管理法、手当の要領及び搬送法について学びます。

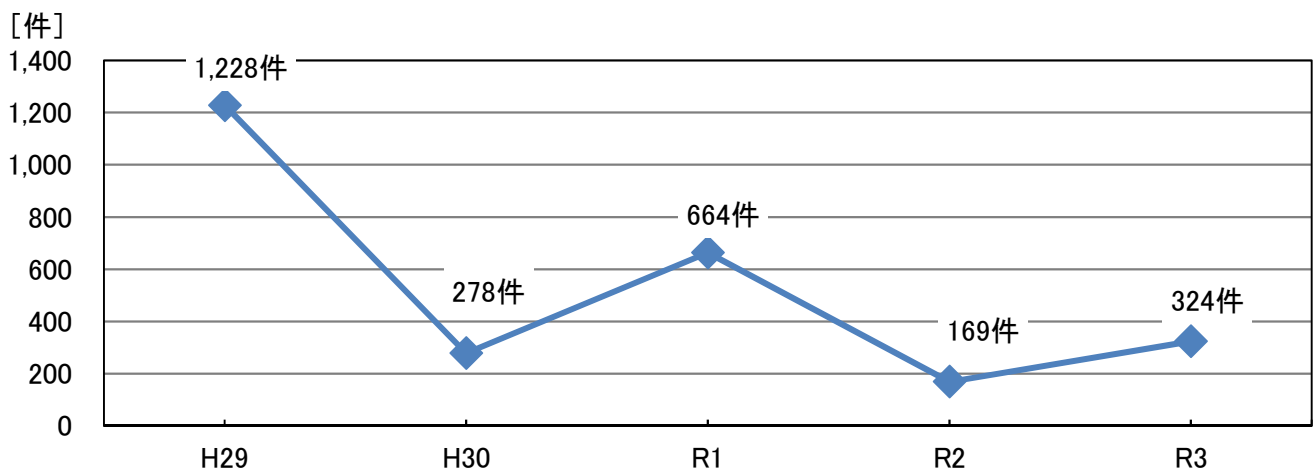


10. 応急手当普及員講習会の参加者数

○応急手当普及員及び応急手当普及員講習についても、消防庁の「応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱」において定められています。



11. 防火対象物への査察実施件数



12. ドローンを利用した遠隔情報共有システム

◆遠隔情報共有システム

複数台のドローンやスマートフォンで撮影した画像情報を、デジタル地図上へリアルタイムに投影します。撮影した画像はクラウド上に集約され、最大6台の端末で、最大10台分のドローンの画像を同時に閲覧できます。システムの機材構成はドローン13台、スマートフォン34台、タブレット6台です。

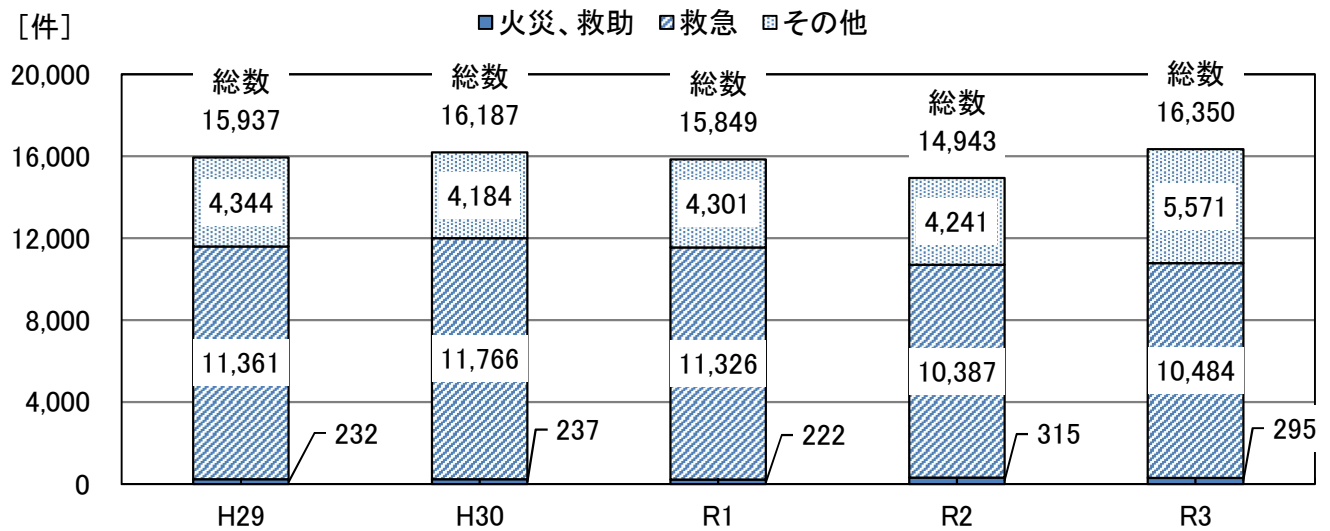
※システムの表示画面



※ドローン

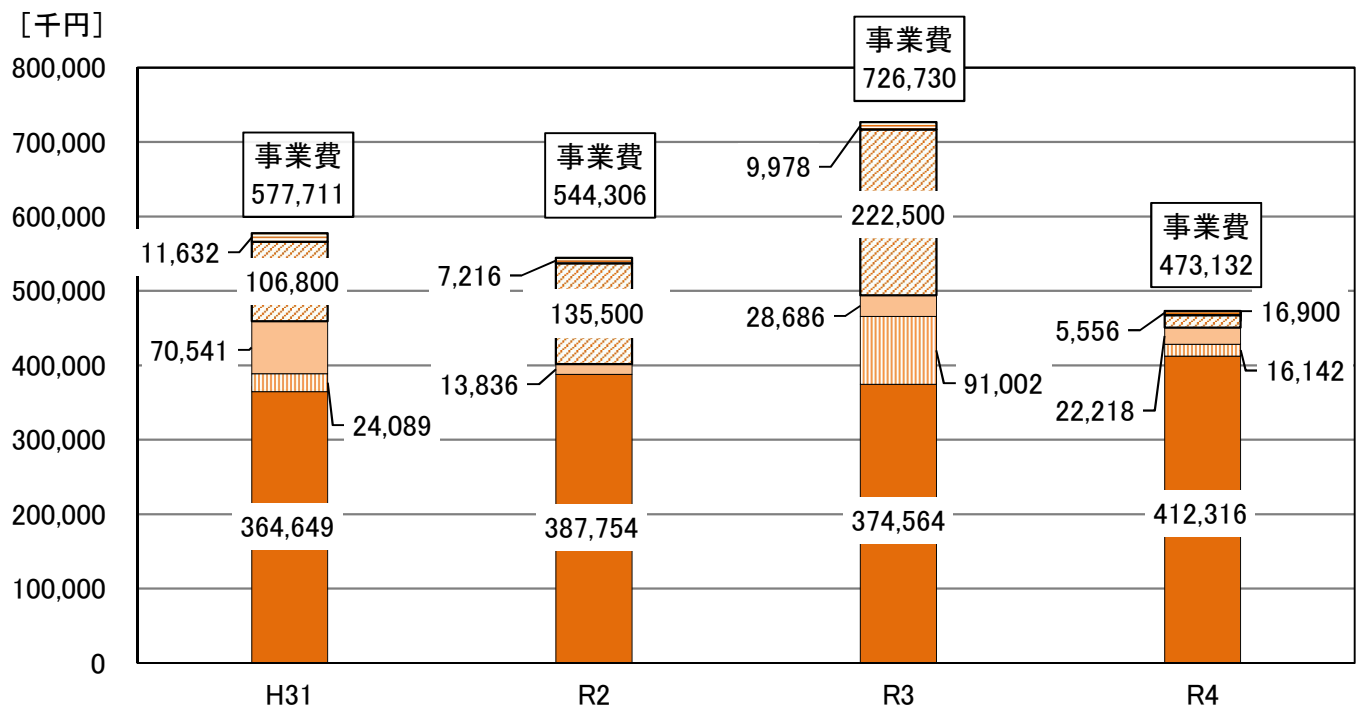


13. 119番受信件数



14. 予算額の推移(めざす成果5-2-4に位置づけている事業のみ)

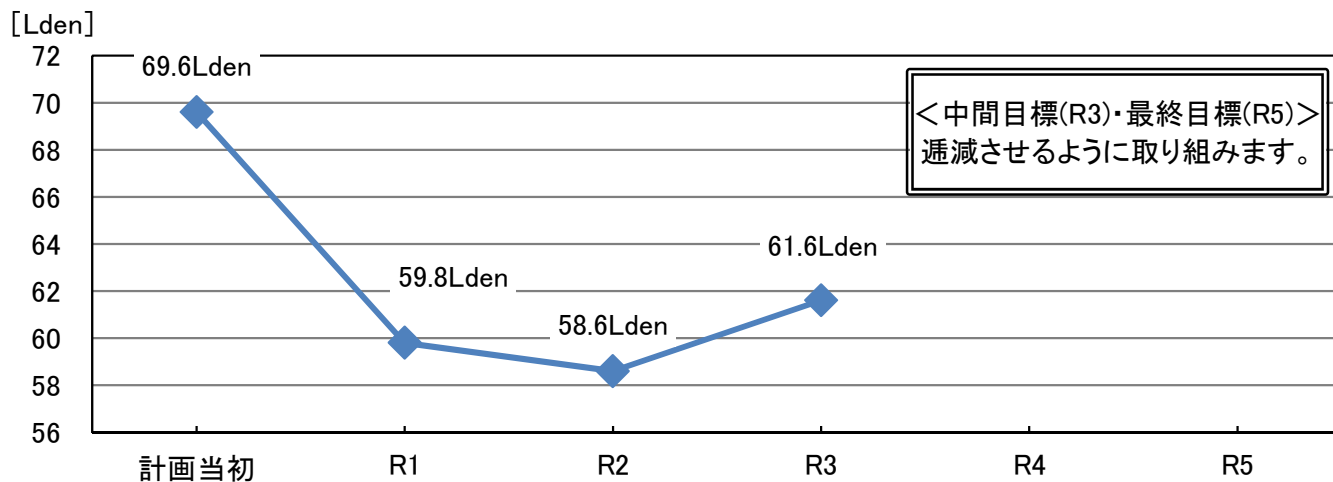
■一般財源 ■国庫 ■県費 ■市債 ■その他



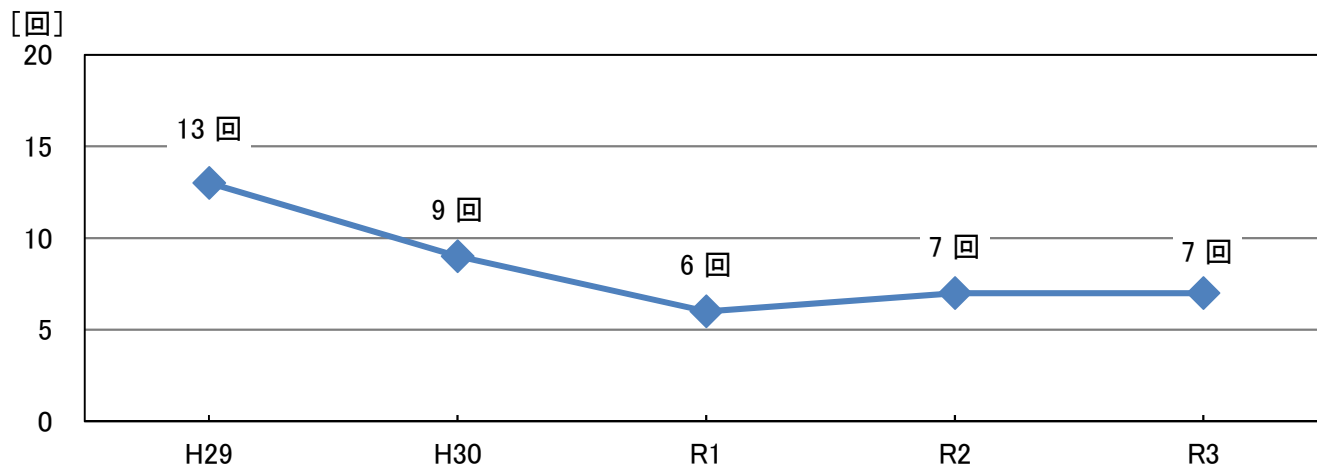
めざす成果5-3-1 航空機による被害のない生活を送っている

<成果を計る指標>

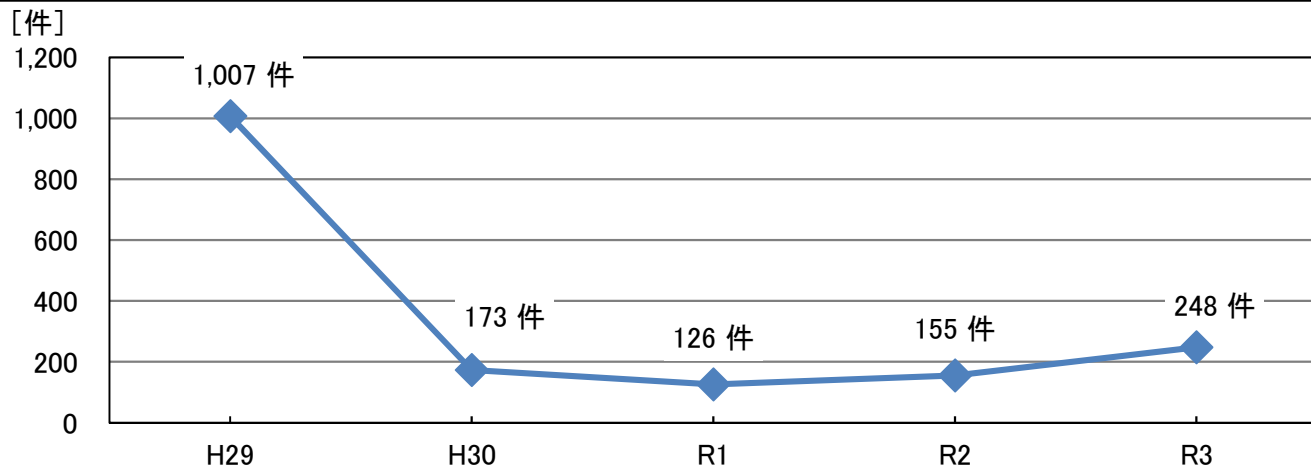
1. 指標① 時間帯補正等価騒音レベル(Lden)



2. 国・米軍への要請等実施回数

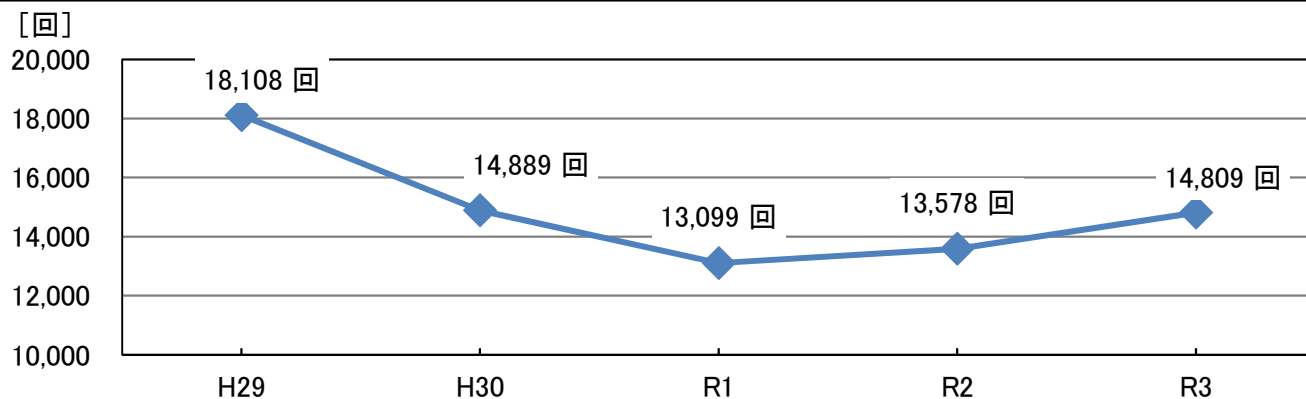


3. 航空機騒音等に係る苦情受付件数



※平成30年3月に岩国基地への空母艦載機の移駐が完了しました。

4. 騒音測定回数(滑走路の北 約1km地点における測定)

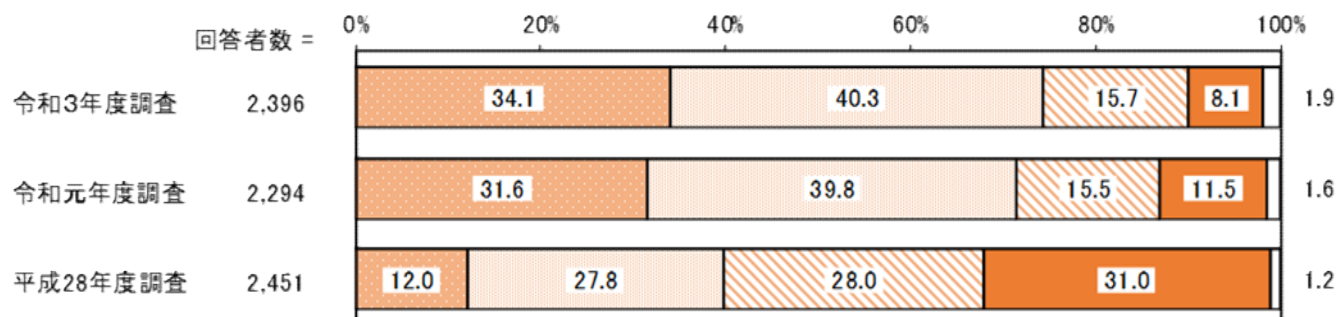


※航空機騒音の測定においては70デジベル以上、5秒以上の継続音等を測定条件としています。

※滑走路からおよそ北2km、3km、東800m、南500mの地点においても測定しています。

5. 以前に比べて、航空機による騒音の被害が減ったと思う市民の割合(市民意識調査より)

■ そう思う □ ややそう思う ▨ あまりそう思わない ■ そう思わない □ 無回答



6. 予算額の推移(めざす成果5-3-1に位置づけている事業のみ)

■ 一般財源 □ 国庫 ■ 県費

